

平成30年度

当初予算(案)主要施策・事業補足資料

平成30年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料一覧

補足資料
ページ

予算案概要
掲載ページ

I 中四国をリードし、活力と創造性あふれる「経済・交流都市」

1. 地域経済の活性化による、魅力と活力あふれるまちづくり

拡充	● ヘルスケア産業創出・育成事業	1	8
拡充	● ものづくり産業振興事業	2	8
拡充	● ものづくり産業海外展開支援事業	3	8
拡充	● 中小企業活性化事業・創業支援事業	4	8
	● 商店街等地域商業の活動への支援	5	9
拡充	● 企業立地推進事業	6	9
	● 空港南産業団地整備事業	7	9
拡充	● 雇用対策等事業	8	9
拡充	● 魅力ある中心市街地の創出	9	10
拡充	● 西川魅力にぎわい創出事業	10	10
	● 県庁通り歩いて楽しい道路空間創出事業	11	11
拡充	● まちなかの魅力や賑わいをつなぐ公共交通の利便性向上 (路面電車の乗り入れ等)	12	11
新規	● 路面電車のネットワーク化検討	13	11
拡充	● 市街地再開発事業の促進	14	11
拡充	● コンベンション誘致対策事業	15	11
	● 農業の担い手確保・経営力向上対策事業	16	12
	● 農作物被害対策事業	17	12
	● 地産地消推進事業	18	12
拡充	● おかやま観光情報発信事業	19	12
拡充	● 地域の振興	20	13
新規	● 中山間・周辺地域等稼ぐ力創出事業	21	13
新規	● 地域の未来づくり推進事業	22	13
	● 移住・定住の促進	23	13

2. コンパクトでネットワーク化された快適で多様なまちづくり

拡充	● 地域おこし協力隊事業	24	14
拡充	● 新たな生活交通の確保	25	14
	● 土地利用の適正誘導	26	14
	● 岡山西部総合公園(仮称)整備事業	27	14
拡充	● 北長瀬みずほ住座再生事業	28	14
新規	● 地域公共交通網形成計画策定事業	29	14
	● 超小型モビリティの導入可能性検討	30	15
	● 自転車先進都市の推進	31	15
拡充	● 道路ネットワークの充実・強化	32	15
	● 空家等適正管理支援事業	33	15
	● 斎場整備事業	34	15

3. 歴史と文化が薫り、誇りと一体感の持てるまちづくり

拡充	● 芸術文化まちづくり推進事業	35	16
	● 都心創生まちづくり事業	36	16
拡充	● 岡山城の魅力アップ	37	16
	● 史跡保存整備事業	38	16
	● 「岡山歴史のまちしるべ」の設置事業	39	16
拡充	● 新しい文化芸術施設の整備	40	17
拡充	● 岡山フィルハーモニック管弦楽団の活動支援	41	17
	● 文化芸術に親しむ事業(文化振興推進プロジェクト)	42	17
拡充	● トップチーム支援事業	43	17
拡充	● 東京オリンピック・パラリンピック等の推進	44	17
	● スポーツ施設の計画的な整備・長寿命化	45	17

II 誰もがあこがれる充実の「子育て・教育都市」

4. 安心して子育てができ、若者や女性が輝くまちづくり

拡充	● 子育て環境の整備(保育関係)	46	18
拡充	● 私立保育所等の施設整備	47	18
拡充	● 最適化に向けた施設整備・幼保一体化の推進	48	18
拡充	● 緊急的な一時預かり事業	49	18
新規	● 1・2・3歳児入所支援事業	50	19
拡充	● 障害児保育運営費助成事業	51	19
新規	● アレルギー児対応調理員等加配助成事業	52	19
拡充	● 放課後児童健全育成事業	53	19
拡充	● 子どもの貧困対策推進事業	54	19
新規	● 新入学準備費支給事業	55	20
拡充	● 女性が輝くまちづくり事業	56	20
新規	● 性の多様性の理解促進	57	20
拡充	● 大学生まちづくりチャレンジ事業	58	20
拡充	● 妊産婦相談支援事業	59	20

5. つながる教育で未来を拓く人材を育むまちづくり

	● 学力向上推進プロジェクト	60	21
拡充	● 英語教育推進事業	61	21
	● 学校支援ボランティア事業	62	21
新規	● 全国中学校体育大会開催事業	63	21
新規	● 教育支援アドバイザー配置事業	64	21
拡充	● 適応指導教室運営事業	65	21
	● 学校業務アシスト事業	66	22
拡充	● 部活動指導員配置事業	67	22
	● 高島小学校校舎増築事業	68	22
拡充	● 学校空調設備整備事業	69	22
拡充	● インターネット予約図書モデル事業	70	22
拡充	● 図書館相互利用	71	22
新規	● 公民館Free Wi-Fi整備事業	72	22

6. 理解を深め合い、ともに築く市民主体のまちづくり

	● 岡山ESDプロジェクト推進事業	73	23
	● コミュニティ活動推進備品修繕等助成事業	74	23
新規	● 区まちづくり独自企画事業	75	23
新規	● 岡山市・サンホセ市姉妹都市締結50周年記念事業	76	23

Ⅲ 全国に誇る、傑出した安心を築く「健康福祉・環境都市」

7. 住み慣れた地域で安心して暮らせる健康・福祉のまちづくり

拡充	● 伸ばそう健康寿命！	77	24
新規	● SIBを活用した健康ポイント事業	78	24
	● 生涯現役社会づくり事業	79	24
新規	● 地域共生社会推進事業	80	25
拡充	● 在宅医療介護連携推進事業	81	25
	● 在宅介護総合特区推進事業	82	25
新規	● 難病医療費助成等事業	83	25
拡充	● 国民健康保険財政健全化推進事業	84	25
新規	● 特定健康診査の自己負担軽減(ワンコイン化)	85	25
新規	● ユニバーサルデザイン推進事業	86	26
新規	● バリアフリー基本構想の策定事業	87	26
新規	● ヘルプマーク普及・促進事業	88	26
	● 障害者就労支援事業	89	26
拡充	● 障害者の地域生活への移行の推進	90	26
拡充	● 生活困窮者自立支援事業	91	27
	● 生活保護適正実施の推進	92	27
拡充	● 訪問介護看護事業所等の整備	93	27

8. 地域の力を活かした災害に強く安全・安心なまちづくり

拡充	● 下水道・河川による浸水対策事業	94	28
	● 浸水対策特別事業	95	28
	● 市場耐震改修整備事業	96	28
	● 橋梁長寿命化対策・耐震補強事業	97	28
拡充	● 住宅・建築物耐震改修等補助事業	98	28
	● 用水路等安全対策事業	99	29
	● 水道施設・管路耐震化等更新事業	100	29
拡充	● 下水道施設の再構築(リノベーション)事業	101	29
拡充	● 下水道施設の耐震化対策の推進	102	29
	● 地域防災力の向上	103	29
新規	● 本庁舎整備事業	104	30
	● 消防署所適正配置事業	105	30
新規	● 救急業務ICT化事業	106	30
	● 『「安全で安心なまちづくり」岡山市行動プラン』に基づく事業	107	30
新規	● 緊急情報伝達手段の整備事業	108	30

9. 豊かな自然と調和した市民の手による持続可能なまちづくり

	● 地球温暖化対策推進事業	109	31
	● 開発事業に対する環境配慮の推進	110	31
	● ごみ処理広域化対策事業	111	31
拡充	● 下水道未普及対策推進事業	112	31
	● 合併処理浄化槽設置補助金事業	113	31
	● し尿処理施設の整備・効率化	114	31

3つの将来都市像実現のベースとなる都市経営の視点

10. 圏域をリードし、都市の持続的発展を支える都市経営

	● 岡山連携中枢都市圏ビジョンに基づく連携取組の推進	115	32
	● 瀬戸内4県都市の連携推進	116	33
拡充	● 市民サービス拠点の整備	117	33

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 ヘルスケア産業創出・育成事業

拡充

1 事業の趣旨

健康で心豊かな暮らしをサポートする機器、サービス、システム等、経済産業分野におけるすべての事業及び商品を対象分野として、異業種交流や消費者ニーズのフィードバック等を通じて、常に新しい事業の創出や商品開発を目指します。

2 事業内容

(1) 試作機器開発補助金

- ・高齢者等が在宅で自立生活を送ることに資する機器等の試作開発に関する補助

(2) ヘルスケア産業販路拡張補助金【拡充】

- ・市内で開発・製造されたヘルスケア産業の工業製品等の販路拡張のため展示会等に出展する経費の一部を助成

(3) 各種セミナー開催等の協議会運営【拡充】

- ・協議会会員のセミナー・事業アイデアの創出を図るイベントの開催、協議会活動の周知広報等

(4) モデル事業補助

- ・協議会において活動するワーキンググループが行う事業化の取組を支援

(5) ハンズオン支援事業委託

- ・事業化段階に移行している協議会会員に対して課題解決に至るまで寄り添う支援

(6) モニター実証支援

- ・協議会会員が開発中の製品・サービスに対するモニター実証の場を提供する支援

(7) 健康経営・ワークライフバランス推進事業者表彰制度の実施

- ・健康経営やワークライフバランスに取り組んでいる企業に対する表彰制度の創設

3 事業費

(1) 歳出額 33,000 千円

(2) 財源内訳

- ・国庫支出金 12,600 千円
- ・一般財源 20,400 千円

(前年度当初予算額 31,000 千円)

(今年度当初要求額 33,000 千円)

担当課名	産業観光局産業政策課
担当者名	課長 竹本 泉造
電 話	内線 4513
	直通 086-803-1342

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕

ものづくり産業振興事業

拡充

1 事業の趣旨

中小ものづくり企業等の国内・海外における新規取引先の開拓や販路拡大を支援するとともに、地元大学などの教育機関・研究機関や民間企業と連携し、各企業の優れた技術力や製品開発力を活かした付加価値の高い商品の開発や新たなビジネスの創出を目指します。

また、中四国エリアや岡山都市圏の中核都市として、広域的な地域経済の活性化にも取り組みます。

2 事業内容

(1) 食品製造見本市へ岡山市ブースを設置

グルメ&ダイニングスタイルショー(東京)へ市共同ブースを出展

(2) 岡山連携中核都市圏食品製造見本市共同出展事業【新規】

首都圏で開催される見本市へ岡山連携中核都市圏4市(岡山市、津山市、瀬戸内市、真庭市)で共同ブースを出展

(3) ビジネスフェア中四国展示会に参画【新規】

中四国4市(岡山市、広島市、高知市、浜田市)と同商工会議所が合同で、首都圏からバイヤーを招いての展示会を開催

(4) 地域産品ブランド力向上支援【拡充】

専門家による消費者志向の新商品開発や見本市出展など商品ブランド力の向上を支援

3 事業費

(1) 歳出額 49,500 千円

(2) 財源内訳

・その他 5,811 千円

・一般財源 43,689 千円

(前年度当初予算額 39,500 千円)

(今年度当初要求額 49,576 千円)

担当課名	産業観光局産業振興・雇用推進課
担当者名	課長 河田 雅博
電 話	内線 4520
	直通 086-803-1325

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 ものづくり産業海外展開支援事業

拡充

1 事業の趣旨

国際経済支援団体である岡山県国際経済交流協会(OIBA)、日本貿易振興機構岡山情報センター(JETRO岡山)、岡山EU協会の協力を得て、市内中小ものづくり企業等の海外販路開拓や海外生産等の積極的なグローバル展開を押し進めます。

2 事業内容

- (1) 中小ものづくり企業の国際化に対応するため、OIBA、JETRO岡山、岡山EU協会の協力を得て、海外経済情報の収集や提供、海外経済人との国際経済交流の促進、経済の国際化に関するセミナー等の取組みを推進
- (2) フィリピン総領事館と連携したビジネスセミナーやフィリピン企業を招いたビジネスマッチングの開催【新規】

3 事業費

- | | |
|------------|-----------|
| (1) 歳出額 | 2,890 千円 |
| (2) 財源内訳 | |
| ・一般財源 | 2,890 千円 |
| (前年度当初予算額) | 1,900 千円) |
| (今年度当初要求額) | 2,894 千円) |

担当課名	産業観光局産業振興・雇用推進課
担当者名	課長 河田 雅博
電 話	内線 4520
	直通 086-803-1325

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 中小企業活性化事業・創業支援事業

拡充

1 事業の趣旨

市内中小企業者が、今日の厳しい環境に対応・発展していくため、各種セミナー等を開催して経営者等の意識改革を行うとともに、創業、設備投資や商工団体への助成、専門家の相談事業、大学シーズと企業ニーズのマッチング事業を行うなど支援を強化し、中小企業の活性化を図ります。

2 事業内容

(1) 創業支援事業

・岡山市版・スタートアップ小規模企業・中小企業支援事業

(起業家塾、創業・経営セミナー、創業ツアーの開催、大学シーズと企業ニーズのマッチング事業等)

・創業者支援事業補助金(創業に要する経費に対する補助)

(2) 経営支援事業

・企業人材育成セミナーの開催

・経営改革支援事業

(小規模企業の設備投資に対する補助制度の新設)【新規】

・商工団体補助事業(岡山県中小企業団体中央会への補助)

3 事業費

(1) 歳出額 69,500 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 69,500 千円

(前年度当初予算額 61,777 千円)

(今年度当初要求額 71,133 千円)

担当課名	産業観光局産業振興・雇用推進課
担当者名	課長 河田 雅博
電 話	内線 4520
	直通 086-803-1325

平成30年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 商店街等地域商業の活動への支援

1 事業の趣旨

商店街等が行う店舗誘致活動、集客イベントをはじめとした来街者の誘導・販売促進のための取り組み(ソフト事業)、また安全・安心で快適な商業空間の創出に向けたアーケードや防犯設備等基盤整備への支援(ハード事業)を通じ、中心市街地の活性化を図ります。また地域商業の活性化に向けた取り組みを支援します。

2 事業内容

(1) 地域商業グループ活動支援事業

・小規模企業者等が実施する地域商業の自主的な活動支援

(2) 商店街活性化支援事業～商店街やる気のあと押し

・商店街の空き店舗解消、店舗誘致に係る取り組み等を支援

(3) 大学生店舗応援事業

・小規模小売店舗支援策に絡めた大学との連携事業を実施

(4) 商店会連合会との共催による催事等を実施

(5) 各商店街組合等が実施する販売促進事業や調査研究事業等を支援

3 事業費

(1) 歳出額 43,548 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 43,548 千円

(前年度当初予算額 55,798 千円)

(今年度当初要求額 45,976 千円)

担当課名	産業観光局産業振興・雇用推進課
担当者名	課長 河田 雅博
電 話	内線 4520
	直通 086-803-1323

平成30年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 企業立地推進事業 拡充

1 事業の趣旨

従来の製造工場等の誘致に加え、企業の本社機能や中四国支店等の広域的営業拠点の立地を進めることにより、ニーズが高い事務系職種の雇用を創出します。新たに民有地へ立地する物流施設を支援対象とすることで、中四国地域における本市の物流拠点性を向上させます。

また、市内本社企業の本社機能の拡充等に加え、市内既存工場等の統合・集約による拠点強化及び戦略的再投資への支援を行うことにより、市外への流出を防止します。

2 事業内容

(1) 企業立地促進事業

- ・製造工場等を立地する企業に対し奨励金を交付
- ・重点分野は補助率を加算

(2) 都市型サービス産業推進事業

- ・コールセンター等を立地する企業に対し補助金を交付

(3) 本社・中四国支店等立地推進事業

- ・本社、本社機能(総務、経理、研修、研究開発部門等)、中四国支店等広域的営業拠点等を立地する企業に対し補助金を交付
- ・市内本社企業の本社機能の拡充等に対し人材確保奨励金を交付
- ・重点分野は補助率を加算

(4) 再投資・拠点強化促進事業

- ・市内既存工場等の統合・集約による拠点強化及び戦略的再投資を行う企業に対し奨励金を交付
- ・重点分野は補助率を加算

(5) 物流施設誘致促進事業【拡充】

- ・物流施設を立地する企業に対し奨励金を交付
- ・公的団地用地だけでなく、民有地へ立地する物流施設を補助対象に追加
- ・建物補助金の補助率拡充及び人材確保奨励金を補助金の種類に追加

3 事業費

(1) 歳出額 132,700 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 132,700 千円

(前年度当初予算額 71,900 千円)

(今年度当初要求額 132,968 千円)

担当課名	産業観光局産業政策課
担当者名	課長 竹本 泉造
電 話	内線 4513
	直通 086-803-1328

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 空港南産業団地整備事業

1 事業の趣旨

交通の利便性に優れ災害リスクの低い県南内陸部は、企業からの引き合いが多いため、岡山空港から南へ4kmに位置する未利用県有地である元第2リサーチパーク用地を活用し、岡山県と共同で産業団地整備を行い、平成30年度中の分譲開始を目指します。

2 事業内容

(1)実施内容

未利用県有地である元第2リサーチパーク用地を活用し、岡山県と共同で産業団地を整備します。

団地名称： 空港南産業団地

開発主体： 岡山市、岡山県

位 置： 岡山市北区富吉地内

事業面積： 約27ha(開発面積 約24ha)

分譲面積： 約10ha(3区画)

概算事業費： 約48.5億円(県:約40.2億円、市:約8.3億円)

(分譲地売却益を除いた実質負担額 県:10.2億円、市:8.3億円)

(2)開発スケジュール(予定)

造成工事： 平成28～30年度

(平成30年度は道路、下水道及び上水道整備事業を実施)

分譲開始： 平成30年度

3 事業費

(1)歳出額 379,000 千円

(2)財源内訳

・地方債 284,000 千円

・一般財源 95,000 千円

(前年度当初予算額 160,000 千円)

(今年度当初要求額 381,587 千円)

担当課名	産業観光局産業政策課
担当者名	課長 竹本 泉造
電 話	内線 4513
	直通 086-803-1328

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 雇用対策等事業 拡充

1 事業の趣旨

市内中小企業等の人材確保を支援することで、企業活動の活性化を促進します。

2 事業内容

(1) 新規学卒者等合同企業説明会開催事業

・主に市内就学の学生等を対象とした市内中小企業等による合同企業説明会を開催

(2) UIJジョブマッチング事業

・首都圏在住者を含む若年求職者に市内中小企業等における就業体験の機会を提供

(3) 働き方改革推進・企業情報PR事業【拡充】

・企業の情報と働き方改革に取り組む企業への取材記事をまとめた冊子の作成

(4) 人材確保スキルアップ支援事業

・市内中小企業の採用担当者を対象とした、企業の自社PR力向上を目的としたセミナーや、企業を訪問しての個別指導を実施

(5) 保護者及び学生と地元企業との交流事業

・保護者を対象とした就職セミナーや、学生と地元企業との意見交換会(座談会)を開催

(6) マザーズハローワーク出張相談開催事業

・おかやまマザーズハローワーク等と共同でふれあいセンター等において就業相談を実施

(7) 中高生向け合同職場体験イベント開催事業【拡充】

・市内中小企業等が体験型や実演・展示型のブースを出展するイベントを開催

3 事業費

(1) 歳出額 23,200 千円

(2) 財源内訳

・国庫支出金 6,000 千円

・一般財源 17,200 千円

(前年度当初予算額 25,000 千円)

(今年度当初要求額 29,200 千円)

担当課名	産業観光局産業振興・雇用推進課
担当者名	課長 河田 雅博
電 話	内線 4520
	直通 086-803-1323

平成30年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 魅力ある中心市街地の創出

拡充

1 事業の趣旨

魅力ある中心市街地の創出に向けた各種事業を推進していきます。

2 事業内容

【まちなかをめぐろう】(46, 100千円)

①県庁通り歩いて楽しい道路空間創出事業(7, 800千円)

②西川魅力にぎわい創出事業(38, 300千円)【拡充】

【自転車・公共交通に乗ろう】(468, 300千円)

①自転車利用環境の向上と「ももちやり」の運用(294, 800千円)

②まちなかの魅力や賑わいをつなぐ公共交通の利便性向上(173, 500千円)【拡充】

【魅力あふれる商店街】(14, 330千円)

①商店街のやる気のあと押し(14, 330千円)

【岡山の歴史や文化に触れる】(138, 300千円)

①岡山芸術交流の次回開催を目指した検討(25, 000千円)【拡充】

②都心創生まちづくり事業(5, 200千円)

③岡山城の魅力アップ(81, 400千円)【拡充】

④旭川かわまちづくり事業(10, 700千円)

⑤新しい文化芸術施設整備事業(16, 000千円)【拡充】

【まちなかに住む】(1, 389, 200千円)

①快適な居住等の支援(1, 387, 000千円)【拡充】

②高齢者も安心な居住への支援(2, 200千円)

3 事業費

(1)歳出額 2,056,230 千円

(2)財源内訳

・国庫支出金	730,063 千円
・地方債	558,000 千円
・一般財源	768,167 千円

(前年度当初予算額 1,297,478 千円)

(今年度当初要求額 2,142,141 千円)

担当課名	政策局事業政策課
担当者名	課長 黒瀬 英昭
電 話	内線 3590
	直通 086-803-1042

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕

西川魅力にぎわい創出事業

拡充

1 事業の趣旨

西川緑道公園界隈の魅力を高め、中心市街地の賑わいづくりと回遊性の向上を図ります。

2 事業内容

(1) 西川パフォーマー事業

季節ごとの「花・緑ハーモニーフェスタin西川」の開催と、毎月定期的に行われているパフォーマー事業、西川緑道公園内での賑わいづくり活動を継続します。

(2) 西川緑道公園筋歩行者天国

西川緑道公園筋西側市道(平和橋～桶屋橋)の歩行者天国化を民間主体により定期開催し、沿道店舗と連携した賑わいづくりを実施します。

(3) 街なかのまちづくり事業

岡山大学との地域連携協定に基づく意見交換会・勉強会開催のほか、

・西川緑道公園利用者アンケート

・周辺の歩行者交通量の経年変化や建物用途など、西川緑道公園界隈のまちづくりに関わる調査

・まちづくりへの関心を高めるためのまちづくりセミナーを実施します。

(4) 西川緑道公園周辺エリアマネジメント推進事業【新規】

現在活用している西川緑道公園のみならず、周辺を含めた持続的なにぎわい創出や魅力向上を目的として、効果的な資源の活用や運営のためのルールづくりについて検討します。

3 事業費

(1) 歳出額 38,300 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 38,300 千円

(前年度当初予算額 36,600 千円)

(今年度当初要求額 39,653 千円)

担当課名	都市整備局庭園都市推進課
担当者名	課長 赤坂 隆
電 話	内線 3681
	直通 086-803-1395

平成30年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 県庁通り歩いて楽しい道路空間創出事業

1 事業の趣旨

県庁通りの魅力を高め、賑わいや回遊性を向上させるため、道路空間再編(1車線化)によるハード整備だけではなく、地元や沿道事業者といった民間との官民連携による取り組みにより、民地を含めた一体的な道路空間の活用を目指します。

2 事業内容

車中心から人優先のまちづくりのモデル路線となる県庁通りにおいて、

- ・地元や沿道事業者、専門家を交えたワークショップ等の実施
- ・賑わいづくりの実践に向けた新たな事業者等の育成
- ・空間の活用ルールや組織づくりの検討
- ・効果的に道路空間が活用できるよう県庁通りのハード整備(デザイン)へ反映 等を実施し、賑わい・回遊性の促進と都市格の向上を目指します。

3 事業費

(1)歳出額	7,800 千円
(2)財源内訳	
・一般財源	7,800 千円
(前年度当初予算額)	17,800 千円)
(今年度当初要求額)	11,260 千円)

担当課名	都市整備局庭園都市推進課
担当者名	課長 赤坂 隆
電 話	内線 3681
	直通 086-803-1395

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 まちなかの魅力や賑わいをつなぐ公共交通の利便性向上
(路面電車の乗り入れ等) **拡充**

1 事業の趣旨

まちなかの魅力向上や賑わい創出を図ることを目的に、回遊性の向上、ひいては中心市街地の活性化に資するよう、公共交通の利便性向上を進めます。

こうした中、イオンモールの開業という土地利用の変化を中心市街地の回遊性の向上に活かすこととし、平成26年度より「中心市街地活性化政策パッケージ」の一環として、路面電車の岡山駅前広場への乗り入れについて検討を行っています。

平成27年度には、「利便性(乗換)」、「経済性(事業効果)」に優れる平面乗り入れを市の計画案として提示しました。

平成28年度からは、平面乗り入れに伴う駅前広場全体のレイアウト案について、地元、周辺商店街、関係者等とともに検討を進めており、平成29年度中にはレイアウト案を取りまとめることとしております。

平成30年度においては、駅前広場のレイアウト変更に伴うデザインを検討していくとともに、事業化に向けて都市計画や環境影響評価の手続きを行うこととしています。

また、誰もが使いやすい都心内の交通手段である路面電車の利用環境向上のため、バリアフリー車両の導入や既存施設の補修費用等に対する補助も行います。

2 事業内容

(1) 路面電車の乗り入れについて

- ・駅前広場のデザイン検討
- ・都市計画決定手続き
- ・環境影響評価手続き
- ・路面電車乗り入れに伴う中心市街地の人の流動変化分析 等

(2) 路面電車のバリアフリー車両の導入、既存施設の補修費用等に対する補助

3 事業費

(1) 歳出額 163,500 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 163,500 千円

(前年度当初予算額 34,000 千円)

(今年度当初要求額 221,625 千円)

担当課名	都市整備局交通政策課
担当者名	課長 平澤 重之
電 話	内線 3620
	直通 086-803-1376

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

[事務事業名] 路面電車のネットワーク化検討

新規

1 事業の趣旨

新しい文化芸術施設の整備を控え、中心市街地におけるさらなる移動の円滑化を図るため、路面電車の充実(ネットワーク化)に向けたあり方を検討するものです。

2 事業内容

- ・移動の現況把握
- ・移動の将来予測と課題整理
- ・路面電車の充実に向けたあり方検討 等

3 事業費

(1)歳出額 10,000 千円

(2)財源内訳

・一般財源 10,000 千円

(前年度当初予算額 - 千円)

(今年度当初要求額 - 千円)

担当課名	都市整備局交通政策課
担当者名	課長 平澤 重之
電 話	内線 3620
	直通 086-803-1376

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 市街地再開発事業の促進

拡充

1 事業の趣旨

近年、活発な市街地再生の動きにより、人口の都心回帰の動きもみられますが、依然として駐車場等の低・未利用地が多く分散しており、全体として土地の高度利用と都市機能の更新が進んでいません。市街地再開発事業による民間活力を後押しすることにより、高次都市機能や居住機能の充実・強化を図ります。

2 事業内容

市街地再開発組合等が施行する再開発事業に対して、良好な都市環境や賑わいを創出するための助言・指導と補助金による支援を行います。

対象地区: 中山下一丁目1番地区

対象地区: 表町三丁目10番11番23番24番地区

対象地区: 野田屋町一丁目2番3番地区 【新規】

3 事業費

(1) 歳出額 1,387,000 千円

(2) 財源内訳

・国庫支出金 693,500 千円

・地方債 533,600 千円

・一般財源 159,900 千円

(前年度当初予算額 646,758 千円)

(今年度当初要求額 1,387,818 千円)

担当課名	都市整備局市街地整備課
担当者名	都市再開発担当課長 柳 徳見
電 話	内線 3651
	直通 086-803-1378

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 コンベンション誘致対策事業

拡充

1 事業の趣旨

年々増加するコンベンションについて、開催支援体制の強化が求められており、地域の経済波及効果だけでなく、都市ブランド力の向上や国際化につながる国際会議の開催誘致のため、国際会議のキーパーソンとの関係強化を図ります。

また、スポーツ大会の誘致やプロスポーツチームと連携した観光施策を実施します。

2 事業内容

(1) おかやまスポーツ・コミッション(仮称)事務局のおかやま観光コンベンション協会内設置に伴う専任スタッフの配置【新規】

(スポーツを観光資源としてとらえた大会・研修旅行の誘致)

(2) 情報収集・情報発信事業(JNTO等からの情報収集、Webサイトによる情報発信等)

(3) 誘致事業(誘致セールス、セミナー等の開催、視察受入等)

(4) 開催支援事業(開催補助金の交付、歓迎看板の設置等の支援サービス実施)

(5) JNTO賛助団体制度の活用(制度を活用した情報収集、招請事業への参加等)

3 事業費

(1) 歳出額 53,671 千円

(2) 財源内訳

・その他 32,500 千円

・一般財源 21,171 千円

(前年度当初予算額 42,882 千円)

(今年度当初要求額 57,956 千円)

担当課名	産業観光局観光コンベンション推進課
担当者名	課長 芳原 保
電 話	内線 4530
	直通 086-803-1332

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 農業の担い手確保・経営力向上対策事業

1 事業の趣旨

就農希望者に対し若手農業者をモデル経営体として登録・紹介するなど、営農開始前後の支援を切れ目なく行うことにより、担い手の確保・育成を図ります。

白桃、ぶどう等園芸ブランド農産物の生産振興等のための供給力強化等に資する取組みや農業者と企業との連携を支援することにより、経営力の向上を図ります。

2 事業内容

(1) 経営の強化

- ・農地中間管理機構を通じた農地集積に対する支援
- ・担い手への農地集積に対する支援
- ・園芸作物の生産性向上のための施設整備・機械導入等に対する助成

(2) 次世代農業支援事業

- ・農業者と企業等それぞれの連携意向等の情報発信
- ・農業者と企業等との連携相談会の開催
- ・農業者と企業等との個別マッチング
- ・次世代農業モデル事業補助金による支援

(3) 担い手の確保

- ・就農相談会、若手農業者体験研修の実施・マッチング、実務研修の開催
- ・UIJターンによる園芸農業者に対する初期施設整備支援
- ・就業奨励金及び就農直後の所得確保に対する給付

3 事業費

(1) 歳出額 141,270 千円

(2) 財源内訳

- ・県支出金 94,283 千円
- ・その他 250 千円
- ・一般財源 46,737 千円

(前年度当初予算額 166,500 千円)

(今年度当初要求額 174,392 千円)

担当課名	産業観光局農林水産課
担当者名	課長 丸川 洋一
電 話	内線 4540
	直通 086-803-1346

平成30年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 農作物被害対策事業

1 事業の趣旨

イノシシ等有害鳥獣の出没範囲が広がり、農作物等の被害が拡大していることから、地域ぐるみで野生鳥獣が出没しにくい環境の整備を啓発するとともに、侵入防止柵の整備助成、捕獲柵(檻)の設置助成、捕獲活動を行う駆除班の活動支援、捕獲に対する奨励金の交付を行うことで、総合的な対策を図り、野生鳥獣による農作物等の被害の軽減を目指します。

2 事業内容

- (1) 農作物鳥獣害防止対策事業費補助金
 - ・侵入防止柵の設置に対する助成
- (2) 有害獣捕獲柵補助金
 - ・捕獲柵(檻)購入に対する助成
- (3) 有害獣捕獲補助金
 - ・イノシシ、シカ等の捕獲に対する助成
- (4) 狩猟による捕獲促進事業費補助金
 - ・狩猟期のイノシシ、シカ等の捕獲に対する助成
- (5) 有害鳥獣捕獲活動奨励補助金
 - ・駆除班の活動に対する助成
- (6) 捕獲活動推進対策補助金
 - ・狩猟免許取得に対する助成
- (7) 鳥獣被害対策実施隊
 - ・鳥獣被害対策実施隊の編成
- (8) その他の事業
 - ・鳥獣害対策講演会の開催ほか

3 事業費

- | | |
|----------|-----------|
| (1) 歳出額 | 81,900 千円 |
| (2) 財源内訳 | |
| ・県支出金 | 30,447 千円 |
| ・一般財源 | 51,453 千円 |

(前年度当初予算額 91,000 千円)

(今年度当初要求額 81,907 千円)

担当課名	産業観光局農林水産課
担当者名	課長 丸川 洋一
電 話	内線 4540
	直通 086-803-1346

平成30年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 地産地消推進事業

1 事業の趣旨

多彩で活力ある農業の振興のため、市内の農業・農産物の紹介や販路拡大並びに農業者と消費者の交流を進めることで、農業の関心度向上及び市内産農産物の消費拡大による市民が支える農業都市を目指します。

2 事業内容

- (1) 農業体験等を通じて消費者が農業者と交流する地産地消バスツアー
- (2) 地場産農産物の直売所マップの配布による地産地消PR
- (3) 地域地産地消推進モデル事業への補助
- (4) 市内の農業の魅力をPRし、岡山産農産物への関心を高めてもらうとともに、販路拡大につながる「おかやま秋の収穫祭地産地消マルシェ」の開催
- (5) 米粉料理教室・米粉&乳製品スタンプラリーの開催

3 事業費

(1) 歳出額	12,900 千円
(2) 財源内訳	
・一般財源	12,900 千円
	(前年度当初予算額 13,000 千円)
	(今年度当初要求額 12,986 千円)

担当課名	産業観光局農林水産課
担当者名	都市農村交流担当課長 小坂 正樹
電 話	内線 4541
	直通 086-803-1346

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 おかやま観光情報発信事業

拡充

1 事業の趣旨

岡山市の魅力や優位性を国内外へプロモーションし、「桃太郎のまち岡山」の知名度及び都市イメージの向上を図るとともに、市内の滞在時間の延長や回遊性の向上のためのしかけづくりを行います。

また、市民自らが地域の歴史・文化に愛着と誇りを持てるよう、岡山を形作った光ある歴史・文化資源を広域に収集し、次の世代に引き継いでいくとともに、テーマやストーリー性を重視しながら歴史・文化資源を磨き、広く国内外に情報発信することにより、新たな観光客誘致を図ります。

2 事業内容

(1) 岡山型ヘルスツーリズム拠点化事業

真庭市、吉備中央町との共同によるムスリム観光客の受入体制の整備など

(2) 外国人観光客誘致事業(インバウンド事業)【拡充】

観光施設や飲食店との協働によるベース宿泊地としての魅力創出
Wi-Fi環境の整備

(3) シティプロモーション

「鬼カワイイ」をコンセプトとしたファッションや動画、イベントの展開

(4) 圏域内周遊に向けた歴史・文化資源発信事業

あさのあつこ氏執筆の短編集を活用した情報発信

3 事業費

(1) 歳出額 121,672 千円

(2) 財源内訳

・国庫支出金 17,000 千円

・その他 3,000 千円

・一般財源 101,672 千円

(前年度当初予算額 120,900 千円)

(今年度当初要求額 133,950 千円)

担当課名	産業観光局観光コンベンション推進課
担当者名	課長 芳原 保
電 話	内線 4530
	直通 086-803-1332

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕

地域の振興

拡充

1 事業の趣旨

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けていけるよう、地域の特性や実情を踏まえた持続可能で活力ある地域づくりを進めていきます。

2 事業内容

(1) 地域における主体的活動の支援 (278, 850千円)

- ・地域の未来づくり推進事業【新規】
- ・中山間・周辺地域等稼ぐ力創出事業【新規】
- ・地域商業の活性化
- ・特色ある区づくりの推進
- ・区まちづくり独自企画【新規】
- ・コミュニティ活動推進の備品修繕助成

(2) 生活機能等の維持 (291, 090千円)

- ・生活交通の確保【拡充】
- ・空家等の活用の支援
- ・地域共同による農地、水路等の保全管理等の支援

(3) 地域の魅力づくりと人材育成 (61, 100千円)

- ・地域おこし協力隊の活用【拡充】
- ・歴史案内看板の整備
- ・若者の地域活動の推進と人材育成【拡充】

(4) 安全・安心の確保 (381, 900千円)

- ・用水路等の安全対策
- ・野生鳥獣による農林水産物被害対策

3 事業費

(1) 歳出額 1,012,940 千円

(2) 財源内訳

・国庫支出金	19,500 千円
・県支出金	170,180 千円
・基金繰入金	180,000 千円
・その他	17,813 千円
・一般財源	625,447 千円

(前年度当初予算額 877,749 千円)

(今年度当初要求額 926,220 千円)

担当課名	政策局事業政策課
担当者名	課長 黒瀬 英昭
電 話	内線 3590
	直通 086-803-1042

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 中山間・周辺地域等稼ぐ力創出事業

新規

1 事業の趣旨

中山間・周辺地域においては、人口減少・高齢化により、集落の人口規模の減少、コミュニティ活動の衰退が生じています。そのため、中山間・周辺地域の生活機能の維持、地域産業の振興、コミュニティの活性化が必要となっています。現在の状況下で課題を解決するには、地域主体の取組が不可欠であるため、地域が主体となり自らの地域の課題・解決策を検討・実施していただける体制を構築するための支援を行います。

2 事業内容

(1) 地域活力創出担い手育成塾

- ・ 地域おこしのスペシャリストによる講義
- ・ 起業に必要な基礎知識等に関する講習
- ・ 専門家による個別指導

(2) 地域活力創出助成事業

- ・ 地域資源を活かした地域の活力創出に向けた事業の試行に対し補助金を交付

3 事業費

(1) 歳出額 9,000 千円

(2) 財源内訳

- ・ 国庫支出金 4,500 千円
- ・ 一般財源 4,500 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

(今年度当初要求額 9,000 千円)

担当課名	政策局事業政策課
担当者名	課長 黒瀬 英昭
電 話	内線 3590
	直通 086-803-1042

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 地域の未来づくり推進事業

新規

1 事業の趣旨

合併地域などの中山間・周辺地域において、持続可能な地域づくりを目的に、地域内外のNPO法人や企業、地域住民が行う、コミュニティビジネスの創出など様々な地域課題の解決に取り組むための活動等に対する支援を行います。

2 事業内容

(1)活動計画づくりへの支援

- ・課題整理や体制づくりに関するワークショップの開催
- ・専門家やアドバイザーの派遣

(2)計画に基づいて行う地域活力の創出や、生活機能・サービスの維持等の活動に対し補助金を交付

3 事業費

(1)歳出額 180,000 千円

(2)財源内訳

・その他 180,000 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

(今年度当初要求額 50,000 千円)

担当課名	政策局事業政策課
担当者名	課長 黒瀬 英昭
電 話	内線 3590
	直通 086-803-1042

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 移住・定住の促進

1 事業の趣旨

全国の自治体が様々な移住・定住支援を進める中、本市の魅力を発信するため、移住・定住希望者に対してワンストップでの相談・支援が行える取組の更なる充実を図ります。また、県や連携中枢都市圏の市町等と連携・協力し、東京での移住相談会の開催やメディアを活用した移住・定住に関連する情報発信をすることで、圏域への移住・定住を促進します。

2 事業内容

- ・市主催による東京での移住相談会の実施
- ・移住下見ツアーの実施
- ・「おかやまぐらし移住の窓口」の活用
- ・移住支援に関する情報発信
- ・お試し住宅の提供(民間賃貸物件)
- ・企業面接に要する交通費補助
- ・県主催の移住相談会へ出展
- ・日常的な相談対応

3 事業費

(1)歳出額 44,000 千円

(2)財源内訳

- ・国庫支出金 3,132 千円
- ・その他 2,040 千円
- ・一般財源 38,828 千円

(前年度当初予算額 44,200 千円)

(今年度当初要求額 44,182 千円)

担当課名	市民協働局市民協働企画総務課
担当者名	移住定住支援担当課長 藤原 亮
電 話	内線 3276
	直通 086-803-1335

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 地域おこし協力隊事業 拡充

1 事業の趣旨

本市では将来的に人口減少・高齢化の進行が見込まれており、特に中山間・周辺地域においては、地域活動を中心的に担う人材不足が懸念されています。そこで、「地域おこし協力隊」制度を活用し、三大都市圏をはじめとする都市地域から中山間・周辺地域等へ、地域活動を担う人材を採用し、地域の活性化や課題解決の取組を促進します。

2 事業内容

既に導入している御津・建部地域に加え、中山間地域等(24小学校区)を中心に、導入地域の拡大を進めます。

3 事業費

(1)歳出額		40,000 千円
(2)財源内訳		
・一般財源		40,000 千円
	(前年度当初予算額)	31,200 千円)
	(今年度当初要求額)	40,844 千円)

担当課名	政策局事業政策課	北区役所総務・地域振興課
担当者名	課長 黒瀬 英昭	課長 河本 文一
電 話	内線 3590	内線 4190
	直通 086-803-1042	直通 086-803-1655

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕

新たな生活交通の確保

拡充

1 事業の趣旨

人口減少や高齢化が進行する中、公共交通が廃止されるなど公共交通不便地域が拡大しており、高齢者等の日常生活を支える移動手段の確保が大きな課題となっています。

このことから、鉄道やバスが利用しづらい地域を対象に、地域住民の日常生活に必要な新たな交通手段を確保する取組を支援します。

2 事業内容

地域住民主体で地域ごとの特性に応じた生活交通の運行を計画し、試験運行を実施する中で実際のニーズを把握し、運行改善を行いながら、本格運行を目指しています。

(1) 本格運行 灘崎地域迫川地区

(2) 試験運行 瀬戸地域千種地区、津高地域馬屋上・野谷地区、牧石学区牧山地区

(3) 運行計画検討 上道地域角山地区 他

3 事業費

(1) 歳出額 8,000 千円

(2) 財源内訳

・その他 2,000 千円

・一般財源 6,000 千円

(前年度当初予算額 7,600 千円)

(今年度当初要求額 8,312 千円)

担当課名	都市整備局交通政策課
担当者名	課長 平澤 重之
電 話	内線 3620
	直通 086-803-1376

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 土地利用の適正誘導

1 事業の趣旨

人口減少下においても、市民生活の質や都市の活力向上を図り、持続的に発展できる都市を目指し、「コンパクトでネットワーク化された快適で多様なまちづくり」を進めることとしています。

これまでの人口増加や過度な自動車依存を背景に形成された低密度で分散した市街地から、公共交通を中心とした密度の高い市街地への転換を目指し、活力ある拠点の形成や適正な土地利用を推進します。

2 事業内容

総合計画や岡山県南広域都市計画区域マスタープランなどの上位計画の改訂を受けて、平成30年度は、本市の都市計画の基本方針を示す「岡山市都市計画マスタープラン」の見直しを行ったうえで、立地適正化計画の策定作業を進めるとともに、具体の施策展開に向けて土地利用等の実態調査や手法の検討などを行います。

3 事業費

(1)歳出額 20,000 千円

(2)財源内訳

・国庫支出金 2,000 千円

・一般財源 18,000 千円

(前年度当初予算額 20,000 千円)

(今年度当初要求額 22,518 千円)

担当課名	都市整備局都市計画課
担当者名	課長 福田 充弘
電 話	内線 3630
	直通 086-803-1371

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 岡山西部総合公園(仮称)整備事業

1 事業の趣旨

岡山操車場跡地の「総合公園区域」について、市民の皆さんが憩い、楽しむ、緑あふれる総合公園として、また、災害時には防災拠点となる防災公園として整備を行います。

2 事業内容

(1) 期間 平成26年度～平成34年度

(2) 事業経緯

- ・平成26年度 公園実施設計及び管理棟基本設計、用地取得
- ・平成27年度 管理棟実施設計、ASPO等解体、用地取得
- ・平成28年度 多目的広場整備、屋外便所整備、用地取得
- ・平成29年度 多目的広場周辺整備、用地取得

(3) 平成30年度事業内容

- ・エントランス及びイベント広場整備、用地取得

3 事業費

(1) 歳出額 1,490,000 千円

(2) 財源内訳

- ・国庫支出金 462,033 千円
- ・地方債 681,500 千円
- ・一般財源 346,467 千円

(前年度当初予算額 1,764,700 千円)

(今年度当初要求額 1,516,000 千円)

担当課名	都市整備局庭園都市推進課
担当者名	課長 赤坂 隆
電 話	内線 3681
	直通 086-803-1395

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 北長瀬みずほ住座再生事業

拡充

1 事業の趣旨

岡山操車場跡地の「生活支援ゾーン(市営住宅・社会福祉施設導入区域)」において、PFIの手法を用いて、老朽化が著しい北長瀬みずほ住座の建替え(214戸)を行うとともに、併設施設として、民設・民営で保育施設を整備します。

2 事業内容

平成29年度	整備事業者決定 事業契約の締結 設計等着手
平成30年度	実施設計 公共施設整備 本体工事(建築・電気・機械)
平成32年度末	完工(予定)

3 事業費

(1)歳出額	340,200 千円
(2)財源内訳	
・国庫支出金	118,597 千円
・一般財源	221,603 千円

(前年度当初予算額 1,650 千円)

(今年度当初要求額 340,200 千円)

担当課名	都市整備局住宅課
担当者名	課長 見平 孝行
電 話	内線 4660
	直通 086-803-1466

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 地域公共交通網形成計画策定事業

新規

1 事業の趣旨

現在の岡山市は、人口増加と自動車利用を前提とした低密度で分散した都市構造となっているため、中心市街地の活力が低下しており、また、郊外部では路線バスの減便や廃止といった公共交通の衰退により日常生活に必要な移動手段が失われつつあります。

こうした中、平成29年度は、第六次総合計画で示された岡山市の将来像の実現に向けて、交通分野の基本計画となる新たな総合交通計画の策定を進めています。

平成30年度からは、総合交通計画で定めた目標を実現するため、より具体的な施策や、そのスケジュールなどを示す「地域公共交通網形成計画」を、交通事業者等で構成する法定協議会で議論しながら策定します。

2 事業内容

地域公共交通網形成計画の検討・策定

- ・路線バス等の持続可能な公共交通ネットワークの形成に向けた検討

3 事業費

(1)歳出額 3,000 千円

(2)財源内訳

・一般財源 3,000 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

(今年度当初要求額 4,500 千円)

担当課名	都市整備局交通政策課
担当者名	課長 平澤 重之
電 話	内線 3620
	直通 086-803-1376

平成30年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 超小型モビリティの導入可能性検討

1 事業の趣旨

超小型モビリティは、低炭素社会の実現に資するとともに、人口減少・高齢化時代に対応するコンパクトなまちづくりに適した交通手段です。超小型モビリティが、岡山市における各種交通課題等の解決に寄与する交通ツールとなり得るかを検証します。

2 事業内容

平成28年度、平成29年度の実証実験結果から、日常生活における移動手段の確保や地域活性化効果、公共交通との連携による交通課題解決の可能性、回遊性向上の効果を検証し、必要施策の検討等を行います。

3 事業費

(1)歳出額	3,700 千円
(2)財源内訳	
・一般財源	3,700 千円
(前年度当初予算額)	30,000 千円)
(今年度当初要求額)	9,040 千円)

担当課名	都市整備局交通政策課
担当者名	自転車先進都市推進担当課長 今井 洋孫
電 話	内線 3625
	直通 086-803-1375

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 自転車先進都市の推進

1 事業の趣旨

誰もが自転車を“安全”で“便利”に“楽しく”使うことができる都市『自転車先進都市おかやま』の実現を目指し、平成24年8月に策定した「自転車先進都市おかやま実行戦略」に基づき、各種施策を推進していきます。

2 事業内容

(1) 自転車走行空間整備事業

中心部の道路において、路線の状況に応じた自転車走行空間の整備、路面の段差解消等を行います。

(2) 自転車駐輪場整備事業

用地確保が困難な中心市街地における駐輪場整備促進策として、駐輪場を整備する事業者に対し建設費の一部を補助し、民間駐輪場整備の後押しを行います。

(3) コミュニティサイクル事業

自転車やポートの必要な修繕等を行い、現在のサービス水準を維持するとともに、継続運用を行います。

(4) 自転車ルール・マナー関係事業

放置自転車防止啓発指導や、自転車の交通ルール・マナー向上に向けたイベントや街頭啓発活動を継続して実施します。

(5) サイクリングロード事業

吉備路自転車道の利用促進のため、サイクリストが使いやすいマップを作成します。

3 事業費

(1) 歳出額 294,800 千円

(2) 財源内訳

・国庫支出金 35,463 千円

・地方債 24,400 千円

・一般財源 234,937 千円

(前年度当初予算額 357,100 千円)

(今年度当初要求額 299,861 千円)

担当課名	交通政策課	道路港湾管理課	生活安全課
担当者名	担当課長 今井 洋孫	課長 大林 弘明	課長 安部 裕嗣
電 話	内線 3625	内線 3660	内線 3230
	直通 803-1375	直通 803-1415	直通 803-1106

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕

道路ネットワークの充実・強化

拡充

1 事業の趣旨

中心市街地への流出入交通を適切に分散・誘導し、渋滞解消、交通混雑の緩和に資する外環状道路・中環状道路の整備に引き続き取り組むほか、企業立地・物流などの経済活動や、観光・コンベンションなどの広域交流を促進する環境を整えるため、高速道路等へのアクセス強化に重点的に取り組みます。

また、岡山連携中枢都市圏ビジョンの連携施策に位置付けられた事業として、高速道路を活かした人と物の交流促進や、高速道路の利用促進による既存道路の渋滞緩和の効果を検証するため、高速道路料金割引社会実験を予定しています。

2 事業内容

【外環状道路、中環状道路の整備】

- ・(主)岡山赤穂線(中井～宍甘) 延長3.5km、幅員26.0m
- ・(市)藤田浦安南町線 延長1.6km、幅員36.0m
- ・(市)江並升田線 延長1.4km、幅員26.0～42.0m
- ・(都)下中野平井線(旭川工区) 延長1.1km、幅員35.0m

【広域交通網の整備】

- ・(主)佐伯長船線(美作岡山道路) 瀬戸ジャンクション等の整備
- ・山陽自動車道吉備スマートIC 大型車対応、24時間化に向けた取り組み【新規】

【高速道路料金割引社会実験】

- ・人と物の交流促進のための料金割引実験【新規】
- ・既存の道路ネットワーク課題解決のための料金割引実験【新規】

3 事業費

(1)歳出額 4,010,000 千円

(2)財源内訳

- ・国庫支出金 2,056,670 千円
- ・地方債 1,594,500 千円
- ・一般財源 358,830 千円

(前年度当初予算額 3,873,600 千円)

(今年度当初要求額 4,145,241 千円)

担当課名	都市整備局道路計画課
担当者名	課長 荒木 昭彦
電 話	内線 3640
	直通 086-803-1696

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 空家等適正管理支援事業

1 事業の趣旨

平成28年度から空き家の適正管理や利活用を促すために、特定空家等については除却や応急措置に対し、その他の空家についてはリフォームや空き家診断に対し、それぞれ所有者等の自主的な取組を支援します。

2 事業内容

(1) 空き家除却補助

区分	対象	補助率	補助額(上限額)
一般	法に規定する	除却工事等の費用の1/3	50万円
地域活性化 ^{注1}	特定空家等	除却工事等の費用の4/5	200万円

※注1:地域活性化のために、町内会やNPO等が跡地を10年間活用すること

(2) 空き家リフォーム補助

区分	対象	補助率	補助額(上限額)
一般	法に規定する	リフォーム工事 ^{注2} の費用の1/3	50万円
地域活性化 ^{注1}	空き家等	リフォーム工事の費用の2/3	150万円

※注2:耐震工事、バリアフリー工事または省エネ工事のいずれかを含むこと

(3) 空き家診断補助

区分	対象	補助額(上限額)	
旧耐震住宅	法に規定する 空き家等	耐震診断と劣化診断の費用の一部	12万円～14.8万円
新耐震住宅		劣化診断の費用の一部	6万円

3 事業費

(1) 歳出額 39,000 千円

(2) 財源内訳

- ・国庫支出金 15,000 千円
- ・県支出金 6,705 千円
- ・一般財源 17,295 千円

(前年度当初予算額 50,000 千円)

(今年度当初要求額 39,078 千円)

担当課名	都市整備局建築指導課
担当者名	課長 大月 宏行
電 話	内線 4610
	直通 086-803-1410

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 斎場整備事業

1 事業の趣旨

東山斎場の老朽化、将来の火葬需要への対応や災害時等のリスク分散の観点などから、東山斎場の建て替えや北区富吉での新斎場整備に引き続き取り組みます。

2 事業内容

(1) 東山斎場再整備事業

既存の火葬炉を稼働させながら再整備を行うことから、責任の一元化と工事期間短縮を図るため、平成26年度に設計施工一括発注(デザイン&ビルド)方式により事業者と請負契約を締結しています。

平成29年度は、新火葬棟の建築工事に着手しており、平成30年度の供用開始を目指しています。斎場の本体工事が完了した後、既設建物及び火葬炉の解体を行います。

(2) 新斎場整備事業

北区富吉の新斎場整備は、平成29年度に都市計画決定と県知事から都市計画事業の認可を得て、平成30年度は整備事業者の募集、選定を行います。

あわせて平成34年度からの新斎場の稼働に向けて、運営について調査、検討を進めていきます。

3 事業費

(1) 歳出額 2,023,000 千円

(2) 財源内訳

・地方債 1,790,200 千円

・一般財源 232,800 千円

(前年度当初予算額 2,171,437 千円)

(今年度当初要求額 2,048,061 千円)

担当課名	市民生活局生活安全課
担当者名	課長 安部 裕嗣
電 話	内線 3230
	直通 086-803-1277

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕

芸術文化まちづくり推進事業

拡充

1 事業の趣旨

岡山城・後樂園を中心とした歴史文化ゾーンにおける民間との協働による新たな魅力づくり、岡山市の新たな都市ブランドの構築及び若年層のまちづくり参加の促進等を目的に、世界からも注目を集めるハイレベルな現代アート(コンテンポラリーアート)展を開催するとともに、地域に根差した活動とするため、継続的にパブリックプログラムを実施します。

2 事業内容

岡山芸術交流2019の平成31年秋季(9月下旬～11月下旬)開催に向けて次の事業を行います。

○実施計画の策定

テーマ、コンセプト、会期、会場、参加作家名、展示作品数、事業構成、サポートスタッフ、スケジュールなどを盛り込んだ実施計画の策定

○計画に基づく開催準備

- ・広報(ウェブ、チラシ、ポスター等)
- ・サポートスタッフ募集、育成

○プレイベント・パブリックプログラムの実施

- ・プレイベント
- ・パブリックプログラム・ラーニングプログラム

参加アーティストや、有識者によるシンポジウム・レクチャー、サポートスタッフの育成カリキュラムの実施

3 事業費

(1)歳出額 25,000 千円

(2)財源内訳

・一般財源 25,000 千円

(前年度当初予算額 10,000 千円)

(今年度当初要求額 26,402 千円)

担当課名	市民生活局文化振興課
担当者名	課長 佐藤 隆司
電 話	内線 3740
	直通 086-803-1054

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 都心創生まちづくり事業

1 事業の趣旨

岡山城主要部の市有地である旧NHK岡山放送会館跡地、市民会館(移転後)跡地及び旧内山下小学校跡地について、導入すべき機能などに関する検討を行い、平成33年度中を目途に整備構想及び整備計画の策定を行います。

2 事業内容

導入が想定される機能についての検討及び整備する場合に必要な費用等に関する調査を行います。

3 事業費

(1)歳出額	5,200 千円
(2)財源内訳	
・一般財源	5,200 千円
	(前年度当初予算額 5,380 千円)
	(今年度当初要求額 7,000 千円)

担当課名	政策局事業政策課
担当者名	課長 黒瀬 英昭
電 話	内線 3590
	直通 086-803-1042

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 岡山城の魅力アップ

拡充

1 事業の趣旨

再建50周年を迎えた岡山城天守閣等について、平成29年度に行った実証実験事業の評価を踏まえ、今後本格的な活用を行っていくための魅力アップを図るとともに、岡山後楽園等周辺施設との連携をさらに強化していきます。

2 事業内容

(1) 岡山城の新たな活用による魅力アップ事業【拡充】

・歴史体験ゾーン

関ヶ原の合戦を中心とする宇喜多秀家の生涯を常設展示化

・おもてなしゾーン

岡山城で後楽園でのくつろぎを感じ、コンベンション等のレセプション会場としても利用できる空間を創出

・不明門の利活用

ワークショップ、歴史講座等の定期開催

・バリアフリー化

エレベーター(外付け)、屋外階段の夜間照明の設置検討

・耐震補強に伴う内装改修も含む新たな展示構想等の検討

(2) 岡山後楽園・岡山城等連携

岡山後楽園と連携した事業や情報発信等を展開

3 事業費

(1) 歳出額 81,400 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 81,400 千円

(前年度当初予算額 99,700 千円)

(今年度当初要求額 102,625 千円)

担当課名	産業観光局観光コンベンション推進課
担当者名	課長 芳原 保
電 話	内線 4530
	直通 086-803-1332

平成30年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 史跡保存整備事業

1 事業の趣旨

国指定史跡を恒久的に保存し、活用します。地下に埋没している遺構を復元、あるいは表示し、さらに経年劣化によって傷ついた石垣などを修理して、史跡を訪れた市民や観光客がその文化的価値を享受できる環境を整備します。

2 事業内容

(1) 史跡岡山城跡保存整備事業

平成4年度に市が所有している内堀を含む本丸跡を対象に「史跡岡山城跡保存管理計画」を策定し、本丸中の段発掘調査を手始めに保存整備事業に着手しています。

(2) 史跡造山古墳群保存整備事業

造山古墳の陪塚である千足古墳(造山第5古墳)の保存整備を進めるとともに、造山古墳の法面整備を行います。

(3) 史跡大廻小廻山城跡整備事業

東区草ヶ部にある国指定史跡である「大廻小廻山城跡」の整備事業。平成17年に国指定を受け、城跡の土地公有化を進めています。

(4) 史跡東大寺瓦窯跡整備事業

東区万富にある国指定史跡「東大寺瓦窯跡」の整備事業。土地公有化を開始します。

3 事業費

(1) 歳出額 229,500 千円

(2) 財源内訳

・国庫支出金 130,502 千円

・一般財源 98,998 千円

(前年度当初予算額 211,450 千円)

(今年度当初要求額 229,807 千円)

担当課名	教育委員会事務局文化財課
担当者名	課長 乗岡 実
電 話	内線 3875
	直通 086-803-1611

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 「岡山歴史のまちしるべ」の設置事業

1 事業の趣旨

歴史・文化資産の由来等を顕し、市民、来訪者が歴史・文化に親しみ、楽しむ環境づくりを進めるとともに、各地域に埋もれている歴史・文化資産に光を当て、地域の魅力として未来に向けて継承、発展させます。

2 事業内容

(1) 地域の団体からの提案による「岡山歴史のまちしるべ」の設置

地域に点在する歴史文化資源を、地域からの提案により市で設置し、新たな歴史資源の掘り起しや歴史看板を活用した取組につなげていきます。

(2) 総合案内板及びまちの成り立ちに関連する資源説明看板の設置

建部、金川、藤井地区

3 事業費

(1) 歳出額 17,500 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 17,500 千円

(前年度当初予算額 17,500 千円)

(今年度当初要求額 17,534 千円)

担当課名	政策局事業政策課	産業観光局観光コンベンション推進課
担当者名	課長 黒瀬 英昭	課長 芳原 保
電 話	内線 3590	内線 4530
	直通 086-803-1042	直通 086-803-1332

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 新しい文化芸術施設の整備

拡充

1 事業の趣旨

岡山市民会館及び岡山市民文化ホールは、築後数十年が経過し、建物設備の老朽化、バリアフリー化未対応、耐震化の未実施などの課題を抱えています。両施設とも、市民にとって必要不可欠な施設であることから、現在、将来に亘って市民のニーズに応えることのできる新しい文化芸術施設の整備に向けた検討を進めています。

新しい文化芸術施設の整備により、本市の文化力の向上を図るとともに、中心市街地の活性化、回遊性の向上など、まちの魅力アップや新たな賑わい創出につなげます。

2 事業内容

民間再開発事業であるため、市が策定した新しい文化芸術施設整備基本計画の内容に則した再開発事業計画・施設計画とするための協議を進めていきます。再開発事業計画のうち、新しい文化芸術施設について、協力して設計を行います。

ソフト事業について、今年度末策定の新しい文化芸術施設管理運営基本計画を基に、シンポジウムやワークショップなどを開催し、様々な意見を参考にしながら、より具体化した管理運営実施計画を策定します。

3 事業費

(1)歳出額 16,000 千円

(2)財源内訳

・一般財源 16,000 千円

(前年度当初予算額 14,000 千円)

(今年度当初要求額 16,780 千円)

担当課名	市民生活局文化振興課
担当者名	課長 佐藤 隆司
電 話	内線 3740
	直通 086-803-1054

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 岡山フィルハーモニック管弦楽団の活動支援

拡充

1 事業の趣旨

岡山シンフォニーホールを拠点とする岡山フィルハーモニック管弦楽団は、プロの演奏家で編成された楽団として、定期演奏会やスクールコンサート等により大人から子どもまでクラシック音楽の鑑賞機会を提供し、岡山県内の音楽文化の振興に寄与してきました。

今後さらに、地域での音楽文化を創り、楽団独自の音楽スタイルを確立することで、都市ブランドの向上と魅力を発信していきます。

2 事業内容

首席コンサートマスターの配置、首席奏者の固定化を図り、首席指揮者のシェレンベルガー氏とともに、岡山唯一のプロの楽団として、楽団独自の音楽スタイルを確立し、都市ブランドの向上と魅力発信を図ります。

幼いころからプロの演奏に触れる機会を積極的に提供する楽団となり、楽団員の顔が見えることにより鑑賞者を増やし、市民が楽団員に親しみを持ち、市民が支える楽団に育てていきます。

経済的支援と発信力を高めるために、広報・宣伝、営業に力を入れ、楽団の活動をアピールしていきます。

3 事業費

(1)歳出額 36,000 千円

(2)財源内訳

・一般財源 36,000 千円

(前年度当初予算額 26,000 千円)

(今年度当初要求額 36,000 千円)

担当課名	市民生活局文化振興課
担当者名	課長 佐藤 隆司
電 話	内線 3740
	直通 086-803-1054

平成30年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 文化芸術に親しむ事業(文化振興推進プロジェクト)

1 事業の趣旨

岡山市文化芸術振興ビジョンの推進にあたり、市民が文化芸術に親しむ機会を充実させ、文化の担い手育成を図り、併せて岡山の魅力を発信するための各文化事業に関する調査・研究・検討を行います。

2 事業内容

- (1) 文化芸術団体や学校との連携による文化事業の企画・実施
 - ・芸術家や演奏家が学校に出向き体験型ワークショップなどを行う事業の拡大
 - ・地域で活躍する文化関係者やNPO等と連携した文化芸術に親しむ事業の検討
- (2) 本市の文化振興・地域資源に関する調査・研究と活用
 - ・岡山市内の文化芸術資源(人材を含む)の調査と情報集約
 - ・歴史文化体感ツアーや講演会の企画・実施
- (3) 海外を視野に入れた岡山の文化発信事業
 - ・訪日外国人への日本文化の体験機会提供事業
 - ・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文化プログラムの検討

3 事業費

(1) 歳出額 7,500 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 7,500 千円

(前年度当初予算額 7,500 千円)

(今年度当初要求額 9,100 千円)

担当課名	市民生活局文化振興課
担当者名	課長 佐藤 隆司
電 話	内線 3740
	直通 086-803-1054

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕

トップチーム支援事業

拡充

1 事業の趣旨

岡山市を拠点として活動するトップチーム(ファジアーノ岡山、岡山シーガルズ)は、市民の誇りとなり、また、その活躍が市の活力となることに鑑み、その存在がより幅広く市民に浸透していくよう、トップチームへの支援を実施します。

2 事業内容

- (1)「ファジアーノ岡山」と「岡山シーガルズ」をPRする「ご当地ナンバープレート」(原付)を作成します。【新規】
- (2)ホームゲームのうち、年に1ゲームを「岡山市民デー」とし、各種イベントを実施します。
- (3)「市民デー」開催にあたり、岡山市への転入者を対象とした特別招待枠を設定し、招待することで、岡山市への愛着心を育み、ファン層を拡大します。
- (4)トップチームの選手が、市内の小学生と一緒に給食を食べて体を動かす事業を実施し、「食べること」「動くこと」の大切さを啓発します。
- (5)日本三名園のある地元自治体をホームタウンとするチームの対戦ゲームにおいて、「アラウンド・ザ・日本三名園」と銘打ち、三都市が連携して各種PRを実施します。
- (6)岡山シーガルズが、ホームゲーム開催時、選手のユニフォームに「岡山市」のロゴを入れて出場します。

3 事業費

- | | |
|------------|------------|
| (1)歳出額 | 9,000 千円 |
| (2)財源内訳 | |
| ・一般財源 | 9,000 千円 |
| (前年度当初予算額) | 10,000 千円) |
| (今年度当初要求額) | 11,957 千円) |

担当課名	市民生活局スポーツ振興課
担当者名	課長 池田 経二
電 話	内線 4740
	直通 086-803-1616

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕

東京オリンピック・パラリンピック等の推進

拡充

1 事業の趣旨

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に伴い、全国各地で事前に行われるキャンプ等を誘致することにより、岡山市のスポーツ振興、シティプロモーション、交流人口の拡大を目指します。

また、ブルガリア共和国を相手国としたホストタウンとして、交流計画に基づく事業を展開し、スポーツの振興、文化教育の向上及び共生社会の実現を図ります。

2 事業内容

(1) キャンプ誘致活動の推進

岡山県と連携した補助制度を活用し、2020年東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプの誘致活動を進めます。

主な内容: ナショナルチーム等キャンプ誘致推進事業補助金

オリンピック・パラリンピック競技のナショナルチーム等が行うキャンプ(市内施設・宿泊施設利用)に対し、国内交通費・宿泊費等を補助

(2) ホストタウン事業の展開

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、岡山市がブルガリア共和国を相手国としてホストタウン計画に基づく交流事業を展開し、スポーツの振興、文化教育の向上及び共生社会の実現を図ります。

ブルガリア共和国にゆかりのある人や日本人オリンピック・パラリンピアン等を招聘します。

3 事業費

(1) 歳出額 19,900 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 19,900 千円

(前年度当初予算額 16,500 千円)

(今年度当初要求額 19,941 千円)

担当課名	市民生活局スポーツ振興課
担当者名	課長 池田 経二
電 話	内線 4740
	直通 086-803-1616

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 スポーツ施設の計画的な整備・長寿命化

1 事業の趣旨

「岡山市スポーツ施設整備方針」に基づき、老朽化施設について計画的な修繕を行い、長寿命化を図るとともに、各施設の利用者や指定管理者からの意見を踏まえて緊急度を精査し、危険度の高い施設については優先的に対応し、市民のスポーツ振興を図ります。

2 事業内容(主なもの)

- (1) 瀬戸町運動公園野球場修繕
- (2) 当新田サッカー場夜間照明修繕
- (3) 西大寺武道館剣道場床修繕
- (4) B&G海洋センター耐震化等工事 等

3 事業費

(1) 歳出額	172,600 千円
(2) 財源内訳	
・地方債	51,800 千円
・その他	22,000 千円
・一般財源	98,800 千円
(前年度当初予算額)	305,100 千円)
(今年度当初要求額)	190,734 千円)

担当課名	市民生活局スポーツ振興課
担当者名	課長 池田 経二
電 話	内線 4740
	直通 086-803-1616

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 子育て環境の整備(保育関係)

拡充

1 事業の趣旨

待機児童解消のための施策の柱である「保育士の確保」に一層努めるとともに、保育を必要とする子どもたちのための施策に取り組みます。

2 事業内容

(1) 保育士の確保対策

- ・保育士・保育所支援センター

潜在保育士の掘り起しと就労支援により保育士の人材確保を推進します。

- ・民間保育士等処遇改善事業

岡山市独自の取組として、約2%(月額6,000円程度)の処遇改善を継続します。

- ・保育支援者配置助成事業

保育士の業務負担軽減のため、保育支援者の配置を促進します。

(2) 保育を必要とする子どものための施策

登録保育施設の施設維持管理及び児童の処遇向上を目的とした補助金を交付し、保育環境の充実を促進します。

特に、保育従事者のうち保育士等有資格者を2分の1以上配置している施設を特認登録保育施設とし、補助の拡充を継続します。

(3) 寄り添う支援等の強化

利用調整に係る入力作業等のうち、定型的な業務や私立保育所等への委託費支給事務を外部に委託することで、業務の効率化・最適化を推進します。これにより、「寄り添う支援」や「保育士確保対策」などを強化し、市民サービスの向上を図ります。

3 事業費

(1) 歳出額 299,760 千円

(2) 財源内訳

- ・国庫支出金 16,800 千円
- ・県支出金 8,100 千円
- ・一般財源 274,860 千円

(前年度当初予算額 246,734 千円)

(今年度当初要求額 337,949 千円)

担当課名	岡山っ子育成局保育・幼児教育課	岡山っ子育成局就園管理課
担当者名	課長 疋田 洋一	課長 小林 孝昭
電 話	内線 4710	内線 3670
	直通 086-803-1228	直通 086-803-1431

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 私立保育所等の施設整備 拡充

1 事業の趣旨

私立保育所等の新設整備等を実施する事業者に対し、施設整備の補助金を交付します。

2 事業内容

子どもを安心して育てることができる体制を整備するため、保育所等の施設整備に要する経費に対し、私立保育所緊急整備事業等補助金を交付します。

(1) 整備施設数等

私立保育所 7か所 (新設)

私立認定こども園 1か所 (新設)

(2) 保育定員増数

820人分

3 事業費

(1) 歳出額 1,422,000 千円

(2) 財源内訳

・国庫支出金 1,237,138 千円

・地方債 166,300 千円

・一般財源 18,562 千円

(前年度当初予算額 945,300 千円)

(今年度当初要求額 1,422,503 千円)

担当課名	岡山っ子育成局こども園推進課
担当者名	課長 花房 明彦
電 話	内線 4730
	直通 086-803-1430

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 最適化に向けた施設整備・幼保一体化の推進

拡充

1 事業の趣旨

幼稚園と保育所を一体化し、良質な就学前教育・保育を等しく提供できる子育て環境の確保を図ります。

2 事業内容

教育・保育提供区域ごとに、公としての役割(セーフティネット、地域との連携)を担う施設を定め、「岡山市の就学前教育・保育の在り方について」(平成24年12月策定)を基本に、幼保一体化の推進、施設配置の最適化及び未入園児童の縮減に取り組みます。

(1)平成30年度認定こども園整備対象園

伊島認定こども園(仮称) 他7園

(2)市立施設の民営化に伴う施設整備に対する補助対象園

弘西こども園(仮称)

3 事業費

(1)歳出額 2,128,300 千円

(2)財源内訳

・国庫支出金 69,333 千円
・地方債 1,775,900 千円
・一般財源 283,067 千円

(前年度当初予算額 1,220,800 千円)

(今年度当初要求額 2,377,861 千円)

担当課名	岡山っ子育成局こども園推進課
担当者名	課長 花房 明彦
電 話	内線 4730
	直通 086-803-1430

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 緊急的な一時預かり事業 拡充

1 事業の趣旨

認可保育所等への入所が決まるまでの間、公立幼稚園等の余裕教室を活用して一時預かり事業を実施します。

2 事業内容

(1) 緊急的な一時預かり事業を実施する園

公立幼稚園 6園:今、妹尾、陵南、三門、幡多、旭操(各園定員20人)

私立幼稚園等 2園(合計定員37人)

(2) 対象児童

認可保育所等への入園申込みを行い、利用調整の結果、利用できる保育施設等がない場合に、保護者が利用を希望する児童

(3) 対象年齢

1歳6ヵ月以上(利用開始月の初日現在)で離乳食を終了している児童

私立幼稚園については、各施設ごとに定めます。

(4) 開設日、開設時間

8月13日～15日、12月29日～1月3日及び祝日を除く月曜日から金曜日の8時から18時

私立幼稚園については、各施設ごとに定めます。

3 事業費

(1) 歳出額 258,036 千円

(2) 財源内訳

・国庫支出金	61,220 千円
・県支出金	61,220 千円
・その他	64,800 千円
・一般財源	70,796 千円

(前年度当初予算額 130,064 千円)

(今年度当初要求額 209,384 千円)

担当課名	岡山っ子育成局こども園推進課
担当者名	課長 花房 明彦
電 話	内線 4730
	直通 086-803-1430

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕

1・2・3歳児入所支援事業

新規

1 事業の趣旨

待機児童の割合が多い1、2歳児の受入れを促進し、育児休業制度と保育士のマンパワーを最大限に活用することで待機児童の解消に努めます。

また、いわゆる「3歳の壁」問題などに対応するため、3歳児についても単独事業を実施します。

2 事業内容

(1) 1・2歳児の入所支援

前年度と比べ1、2歳児を多く受け入れた私立保育所等に対して、増えた児童数一人当たり年額200千円を支給します。(岡山県の1/2補助事業)

(2) 3歳児の入所支援

前年度と比べ3歳児を多く受け入れた私立保育所等に対して、増えた児童数一人当たり年額100千円を支給します。(市単独事業)

(3) 事業期間

事業開始は平成30年4月とし、子ども・子育て支援事業計画の終期(31年度末)において必要な見直しを行うものとしします。

3 事業費

(1) 歳出額 50,000 千円

(2) 財源内訳

・県支出金 19,000 千円

・一般財源 31,000 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

(今年度当初要求額 38,000 千円)

担当課名	岡山っ子育成局保育・幼児教育課
担当者名	課長 疋田 洋一
電 話	内線 4710
	直通 086-803-1228

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 障害児保育運営費助成事業

拡充

1 事業の趣旨

保護者の労働もしくは疾病その他の事由により家庭での保育が困難で、かつ、心身に障害を有する児童に、障害の特性に応じた保育を行うことにより、障害児の福祉の増進を図ります。

2 事業内容

私立保育所及び私立認定こども園に対して、受入れている障害児数に応じて補助金を交付し、障害児の受入れを促進します。

なお、平成30年度から以下のとおり単価を増額改定し、一層の受入れ増を図ります。

単価の増額改定

○特別児童扶養手当の支給対象児童

1人月額74,000円を80,000円に改定

○身体障害者手帳の交付を受けている児童、療育手帳の交付を受けている児童など

1人目から3人目まで 1人当たり月額37,000円を40,000円に改定

4人目から6人目まで 1人当たり月額50,000円を54,000円に改定

7人目以上 1人当たり月額65,000円を70,000円に改定

3 事業費

(1)歳出額 200,000 千円

(2)財源内訳

・一般財源 200,000 千円

(前年度当初予算額 138,800 千円)

(今年度当初要求額 149,371 千円)

担当課名	岡山っ子育成局保育・幼児教育課
担当者名	課長 疋田 洋一
電 話	内線 4710
	直通 086-803-1228

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 アレルギー児対応調理員等加配助成事業

新規

1 事業の趣旨

自園調理により給食を提供する特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業に対し、非常勤調理員等を加配し、食物アレルギー等の児童を安全に保育するための環境整備を図ります。

2 事業内容

アレルギー対応が必要な児童を多く受け入れている私立保育所や認定こども園等に、非常勤の調理員などを雇用するための経費を補助し、誤食などの事故防止を図ります。

3 事業費

(1)歳出額 8,400 千円

(2)財源内訳

・一般財源 8,400 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

(今年度当初要求額 8,400 千円)

担当課名	岡山っ子育成局保育・幼児教育課
担当者名	課長 疋田 洋一
電 話	内線 4710
	直通 086-803-1228

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕

放課後児童健全育成事業

拡充

1 事業の趣旨

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後や長期休暇中等に適切な遊び及び生活の場を提供して、その健全な育成を図ります。

2 事業内容

- (1) 児童クラブの円滑な運営とともに、必要な施設の整備を進めます。
- (2) 開所時間・開所日数の延長、長期休暇中の受け入れ、送迎の支援や障害児の受け入れなどを進め、児童クラブの質の向上を図ります。
また、常勤職員の配置や賃金改善に要する費用への補助を行い、安定的な人員確保を支援します。
- (3) 希望する全ての児童の受け入れとともに安全・安心な居場所づくりを進めるため、児童クラブの量の確保を図ります。
- (4) 地域におけるサービス内容や保護者負担金の較差などの解決をめざし、新たな運営体制の構築に向けた準備体制を強化します。

3 事業費

(1)歳出額 2,060,613 千円

(2)財源内訳

・国庫支出金	804,233 千円
・県支出金	545,209 千円
・地方債	153,900 千円
・その他	589 千円
・一般財源	556,682 千円

(前年度当初予算額 1,549,121 千円)

(今年度当初要求額 2,171,903 千円)

担当課名	岡山っ子育成局地域子育て支援課
担当者名	課長 村松 弥生
電 話	内線 4761
	直通 086-803-1589

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 子どもの貧困対策推進事業

拡充

1 事業の趣旨

子どもの将来がその生まれ育った環境に左右されることのないよう、また、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、必要な環境整備と教育の機会均等を図ります。

2 事業内容

岡山市子どもの貧困対策推進方針に基づき、子どもの貧困対策を総合的に推進します。

○方針1「早期に、確実に、支援につなぐ」

- ・児童家庭支援センター運営費助成事業【新規】
- ・子どもの貧困対策研修事業【新規】
- ・教育支援アドバイザー配置事業【新規】

○方針2「直面する困難を解決する」

- ・就学援助【拡充】
- ・寄り添いサポートセンターにおける就労支援【拡充】

○方針3「困難を連鎖させない」

- ・子どもの居場所づくり相談窓口設置事業【拡充】
- ・生活保護世帯、ひとり親家庭学習支援事業【拡充】
- ・退所児童アフターケア事業【拡充】

3 事業費

(1)歳出額 748,742 千円

(2)財源内訳

- ・国庫支出金 59,803 千円
- ・県支出金 812 千円
- ・一般財源 688,127 千円

(前年度当初予算額 617,571 千円)

(今年度当初要求額 765,933 千円)

担当課名	岡山っ子育成局こども福祉課
担当者名	課長 出原 晋一郎
電 話	内線 4781
	直通 086-803-1221

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 新入学準備費支給事業

新規

1 事業の趣旨

平成31年4月入学の児童・生徒から就学援助の新入学学用品の支給時期を、入学前の3月に改めます。

2 事業内容

経済的な理由で就学困難な児童・生徒の保護者に対して、新入学時のランドセル代や制服代などの準備費用を支給します。

3 事業費

(1)歳出額 76,000 千円

(2)財源内訳

・一般財源 76,000 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

(今年度当初要求額 76,904 千円)

担当課名	教育委員会事務局就学課
担当者名	課長 力竹 孝典
電 話	内線 3880
	直通 086-803-1587

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 女性が輝くまちづくり事業

拡充

1 事業の趣旨

女性の力が社会の中で最大限に発揮できる環境づくりを進めるため、性別にかかわらず市民一人ひとりの個性が社会のあらゆる場面でいかされる男女共同参画社会の実現に向けた取組等に加え、女性の活躍を応援する取組を進めます。

2 事業内容

- (1) 働く場における女性の活躍支援 (9,653千円)
- ・市内企業で働く女性活躍プログラム【拡充】 1,200千円
 - ・女性の活躍を進める情報発信事業 6,200千円
 - ・女性の再就職支援事業 1,200千円
 - ・マザーズハローワーク出張相談開催事業 150千円
 - ・女性創業セミナー開催事業 44千円
 - ・岡山市女性農業士制度 859千円
- (2) 仕事と生活の調和の推進 (4,348千円)
- ・男性管理職セミナー開催事業 1,500千円
 - ・ワーク・ライフ・バランス啓発及び企業紹介事業 2,500千円
 - ・大学生のためのキャリア形成応援事業【新規】 160千円
 - ・健康経営・ワークライフバランス推進事業者表彰制度 188千円
- (3) 安心して子育てできるための両立支援 (3,292千円)
- ・みんなで子育て推進事業 2,000千円
 - ・子育てパパ・プレパパ応援事業 1,292千円
- (4) 隼より始めよ (690千円)
- ・女性職員の活躍推進研修 690千円
- (5) 基礎調査 (3,240千円)
- ・女性活躍及びワーク・ライフ・バランスに関する調査【新規】 3,240千円

3 事業費

(1) 歳出額 21,223 千円

(2) 財源内訳

- ・国庫支出金 1,094 千円
- ・一般財源 20,129 千円

(前年度当初予算額 27,010 千円)

(今年度当初要求額 21,429 千円)

担当課名	市民協働局女性が輝くまちづくり推進課
担当者名	課長 逢澤 正男
電 話	内線 3735
	直通 086-803-1115

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 性の多様性の理解促進

新規

1 事業の趣旨

性的マイノリティの方の人権など、新たな課題へ対応するため、岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例(さんかく条例)の改正に向けた議論を行うなど、性の多様性の理解促進に向けた取組を行います。

2 事業内容

市民や関係団体とのワークショップを開催するなど、市民協働による性の多様性の理解促進を行うとともに、性的マイノリティの方の人権などの新たな課題に対応するために必要な検討を行います。

3 事業費

(1)歳出額	725 千円
(2)財源内訳	
・一般財源	725 千円
(前年度当初予算額)	— 千円)
(今年度当初要求額)	728 千円)

担当課名	市民協働局女性が輝くまちづくり推進課
担当者名	課長 逢澤 正男
電 話	内線 3735
	直通 086-803-1115

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 大学生まちづくりチャレンジ事業

拡充

1 事業の趣旨

人口に対する大学生の比率が高い岡山市の強みをいかして、大学生が企業や地域、NPO等と協働して取り組む地域における活動を支援することを通じて、若者ならではの柔軟なアイデアの提案・実践による地域課題の解決等を目指すとともに、地域づくりを担う人材育成と若者の地域への定着を図ります。

2 事業内容

大学生による地域課題の解決等に向けて、大学生のグループからアイデアを募集し、地域の関係団体や企業等とのマッチングを図った上で、これらの団体と協働して行う地域における活動に係る費用を助成します。

○対象大学の拡大【拡充】

H29:市内大学(大学9+短期大学3)

⇒H30:市内大学及び連携協定を締結(予定を含む。)している市外大学(大学12+短期大学4)

3 事業費

(1)歳出額 3,600 千円

(2)財源内訳

・一般財源 3,600 千円

(前年度当初予算額 3,000 千円)

(今年度当初要求額 3,796 千円)

担当課名	政策局政策企画課
担当者名	地方創生・政策調整担当課長 折口 範昭
電 話	内線 3584
	直通 086-803-1043

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 妊産婦相談支援事業 拡充

1 事業の趣旨

保健センターにおかやま産前産後相談ステーションを設置し、全ての妊婦を対象とした妊娠期から出産・育児まで切れ目のない支援を行います。

2 事業内容

- (1)平成28年9月に開設したおかやま産前産後相談ステーションと同様の機能を各保健センターに持たせ、助産師等の専門職による相談支援体制(相談受付、電話・訪問による支援)を強化します。
- (2)おかやま産前産後相談ステーションでの妊娠届出時に専門職が面談を行い、妊婦等が有する様々な課題やニーズに対応した個別の支援プランを作成し、安心して妊娠・出産・育児ができるよう支援します。
- (3)平成31年度に、市内37か所ある妊娠届受付窓口の集約を行い、妊娠届出時に妊婦全員と専門職が面談を行う体制を整備します。

3 事業費

(1)歳出額	36,000 千円
(2)財源内訳	
・国庫支出金	12,000 千円
・県支出金	12,000 千円
・一般財源	12,000 千円
(前年度当初予算額)	12,586 千円)
(今年度当初要求額)	53,070 千円)

担当課名	保健福祉局保健管理課
担当者名	課長 森峰 清
電 話	内線 5750
	直通 086-803-1251

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 学力向上推進プロジェクト

1 事業の趣旨

学力調査等の結果を活用し、教育委員会・学校・児童生徒それぞれが計画的に教育・学習における環境・取り組み方法等の改善を図ることにより、学力の向上を目指します。

2 事業内容

(1) 岡山市学力アセス

学力アセスの結果分析をもとに、教員の授業改善や児童生徒の学習改善を図ります。

(2) 「学力・学習状況調査」の活用

結果分析をもとに、よりよい授業づくりを推進し、家庭学習の取組の充実を図ります。

(3) 学力向上に向けた授業研究支援(子どもが輝く学びづくりプロジェクト)

中学校区の児童生徒の学力状況を把握した上で、公開授業を伴う研究会を実施します。

(4) 授業これだけは！

授業における「めあて」「まとめ」「表現活動」の徹底・充実を図ります。

(5) 指導教諭の活躍

他教員の授業づくりを支援します。

(6) 学力向上プロジェクト

授業づくりの学習会を開催し、若手教員の指導力向上を図ります。

(7) 補充学習の支援

市立全中学校に自主学習ソフトを導入し、生徒の自主学習の充実を図ります。

3 事業費

(1) 歳出額 40,000 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 40,000 千円

(前年度当初予算額 39,970 千円)

(今年度当初要求額 40,995 千円)

担当課名	教育委員会事務局指導課
担当者名	課長 岡林 敏隆
電 話	内線 3840
	直通 086-803-1590

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 英語教育推進事業

拡充

1 事業の趣旨

岡山市の子どもたちに多文化理解を促すことと、現在世界で広く使われている英語を聞き、話す力を伸ばすことで地方のグローバル化に対応し、地方と世界をつなぐ人材の育成を図ります。

2 事業内容

(1) 教員の指導力・英語力向上のための取組

- ・英語教育推進リーダー中央研修への派遣
- ・文部科学省教科調査官等を招聘しての説明会及び公開授業の実施
- ・校内研修への講師派遣支援事業

(2) 指導方法、教材開発の研究

- ・英語教育推進リーダー、指導教諭等による授業実践及び研究協議会の実施
- ・英語教育推進指定校事業
- ・地域教材開発プロジェクト

(3) 教育環境の充実

小学校の外国語活動や中学校の英語の授業に外国語指導助手を派遣

(4) 外部からの意見聴取

英語教育検討会議を実施

(5) 民間検定試験を活用した英語力向上事業【拡充】

市立全中学校3年生対象に「読む・聞く・書く・話す」の4技能向上を図る民間検定を実施

3 事業費

(1) 歳出額 168,300 千円

(2) 財源内訳

・その他 308 千円

・一般財源 167,992 千円

(前年度当初予算額 163,000 千円)

(今年度当初要求額 168,301 千円)

担当課名	教育委員会事務局指導課
担当者名	課長 岡林 敏隆
電 話	内線 3840
	直通 086-803-1590

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 学校支援ボランティア事業

1 事業の趣旨

学校園や地域での教育活動や環境整備などの取組に対して、学生や保護者、地域住民の様々な特技や趣味などを活かして支援します。

大学等とも連携し、学生ボランティアでグループをつくり、学力向上や問題行動等の防止に向けた取組を組織的に行います。

2 事業内容

(1) 学生ボランティアの交通費補助

(2) モデル事業の実施(学生グループによる放課後・土曜日等の学習会の試行)

(3) ボランティア研修会の開催

(4) 学生シンポジウムの開催

(5) 学校支援ボランティア連絡協議会の開催 等

3 事業費

(1) 歳出額 9,500 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 9,500 千円

(前年度当初予算額 12,500 千円)

(今年度当初要求額 9,555 千円)

担当課名	教育委員会事務局生涯学習課
担当者名	課長 近藤 康彦
電 話	内線 3860
	直通 086-803-1606

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 全国中学校体育大会開催事業

新規

1 事業の趣旨

平成30年度全国中学校体育大会を開催します。

2 事業内容

(1) 内容

岡山市を会場とする種目

陸上競技 : 第45回全日本中学校陸上競技選手権大会

剣道 : 第48回全国中学校剣道大会

(2) 期間

陸上競技 : 平成30年8月18日～8月21日

剣道 : 平成30年8月22日～8月24日

3 事業費

(1) 歳出額 11,500 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 11,500 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

(今年度当初要求額 11,865 千円)

担当課名	教育委員会事務局保健体育課
担当者名	課長 山田 裕史
電 話	内線 3851
	直通 086-803-1594

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕

教育支援アドバイザー配置事業

新規

1 事業の趣旨

学校教育または、青少年健全育成の経験を有する教育支援アドバイザーを小学校に配置し、問題行動等の未然防止に参画するとともに、取組が効果的に行われるための学校の生徒指導体制・特別支援教育体制づくりに対して助言します。

2 事業内容

- (1) 学校において管理職、生徒指導主事、特別支援教育コーディネーター等の経験を有する者や、少年の健全育成等に知識や経験を有する者を学校支援アドバイザーとして小学校に配置します。
- (2) 教育支援アドバイザーは、問題行動等の未然防止に参画するとともに、教職員に対して学校の生徒指導及び特別支援教育等の体制づくりの助言を行います。
- (3) 具体的な業務内容としては、生徒指導・特別支援教育等に関する校内の支援会議や研修での指導や助言、学校教育活動、家庭、地域、関係機関等の連携に関する支援等を行います。
- (4) 問題行動や特別支援教育に関する研究をしている大学教員や弁護士等の専門家を講師に招き、スキルアップのための研修を実施します。

3 事業費

(1) 歳出額 3,100 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 3,100 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

(今年度当初要求額 10,233 千円)

担当課名	教育委員会事務局指導課
担当者名	教育支援担当課長 服部 道明
電 話	内線 3840
	直通 086-803-1592

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

[事務事業名]

適応指導教室運営事業

拡充

1 事業の趣旨

岡山市在住の不登校及びその傾向のある児童生徒を対象に、学校復帰を目指して、教育相談及び様々な体験活動や学習支援等の適応指導を行います。

2 事業内容

不登校及びその傾向のある児童生徒の居場所として適応指導教室を設置し、指導・支援を行います。そのために、各適応指導教室に指導員、相談員等を配置し、個に応じた指導・支援の体制を整備します。

平成30年度から、トラングルー宮、ラポート牧山、あおぞら操山、すまいる瀬戸に加え、南部適応指導教室を中央卸売市場に暫定的に設置し、5室の体制で、不登校児童生徒への適応指導や教育相談等の充実を図ります。

また、職員の資質向上に向けて、定期的に職員研修を行い、指導や支援に関する知識や理解を深めます。

さらに、リーフレットや活動の記録を作成し、学校や関係機関等に配布し、適応指導教室の機能や活動内容等の周知を図ります。

3 事業費

(1)歳出額 83,700 千円

(2)財源内訳

・その他 773 千円

・一般財源 82,927 千円

(前年度当初予算額 67,742 千円)

(今年度当初要求額 84,125 千円)

担当課名	教育委員会事務局指導課
担当者名	教育支援担当課長 服部 道明
電 話	内線 3840
	直通 086-803-1592

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 学校業務アシスト事業

1 事業の趣旨

小・中学校に岡山市独自で教職員を補助する事務処理員を配置し、教職員の事務負担を軽減させ、児童生徒と向き合える時間を捻出することで、教育環境の向上を図ります。

2 事業内容

(1) 概要

教職員が行っている事務処理の一部を軽減するための人員を配置することで、教職員の児童生徒と向き合う時間を捻出し、問題行動の減少や学力向上を推進します。

(2) 配置

・岡山市立の全小・中学校を対象

3 事業費

(1) 歳出額 68,800 千円

(2) 財源内訳

・国庫支出金 22,692 千円

・一般財源 46,108 千円

(前年度当初予算額 69,000 千円)

(今年度当初要求額 68,872 千円)

担当課名	教育委員会事務局教職員課
担当者名	課長 奥橋 健介
電 話	内線 3830
	直通 086-803-1586

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 部活動指導員配置事業

拡充

1 事業の趣旨

市立中学校及び同高等学校に部活動指導員を配置することで、部活動指導の充実と教職員の負担軽減を図ります。

2 事業内容

(1) 概要

部活動の専門的技術指導を行う部活動指導員を配置します。

- ・運動部(吹奏楽部含む)：年間200時間以内
- ・文化部：年間80時間以内

(2) 期間

4月～3月

3 事業費

(1) 歳出額 25,000 千円

(2) 財源内訳

- ・国庫支出金 8,308 千円
- ・一般財源 16,692 千円

(前年度当初予算額 16,875 千円)

(今年度当初要求額 25,060 千円)

担当課名	教育委員会事務局保健体育課
担当者名	課長 山田 裕史
電 話	内線 3851
	直通 086-803-1594

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 高島小学校校舎増築事業

1 事業の趣旨

児童数が急増し、プレハブ教室で対応していた高島小学校において、今後も児童数の増加が予想されるため、校舎を増築し、教育環境の改善を図ります。

2 事業内容

(1)内容

- ・校舎増築工事(構造:鉄骨造3階建、延床面積:2,937㎡)
- ・既存棟改修工事
- ・渡り廊下工事 ほか

(2)完了予定

平成31年3月

3 事業費

(1)歳出額 658,000 千円

(2)財源内訳

- ・国庫支出金 236,648 千円
- ・地方債 272,700 千円
- ・一般財源 148,652 千円

(前年度当初予算額 607,800 千円)

(今年度当初要求額 658,994 千円)

担当課名	教育委員会事務局学校施設課
担当者名	課長 齋藤 和美
電 話	内線 3807
	直通 086-803-1576

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕

学校空調設備整備事業

拡充

1 事業の趣旨

近年の異常高温に伴う学習活動への影響や、子どもの健康面への配慮から、普通教室に空調設備を整備し、授業に集中できる教育環境を整え、学力の向上や問題行動等の防止・解決につなげます。

2 事業内容

(1) 対象

市内全中学校の普通教室

(2) 期間

平成30年度に実施設計、平成31年度以降に設置工事を行います。

3 事業費

(1) 歳出額 47,100 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 47,100 千円

(前年度当初予算額 3,000 千円)

(今年度当初要求額 47,100 千円)

担当課名	教育委員会事務局教育企画総務課	教育委員会事務局学校施設課
担当者名	課長 村田 守	課長 齋藤 和美
電 話	内線 3810	内線 3807
	直通 086-803-1571	直通 086-803-1576

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 インターネット予約図書モデル事業

拡充

1 事業の趣旨

図書館の蔵書を携帯電話や自宅のパソコンなどから予約するインターネット予約が増加しているため、インターネット予約図書の受取・返却窓口である図書館に加え、市民にとって身近な公民館を受取・返却窓口にすることで、図書館サービスの充実を図ります。

2 事業内容

(1) 内容及び期間

モデル事業として、平成28年7月から高松・福田公民館で、10月から高島公民館で実施し、29年度もモデル事業を継続しています。平成30年度は、現行の3公民館を継続するとともに、新たに2公民館で事業を実施します。

(2) 実施公民館

○継続3館 ・高松公民館 ・福田公民館 ・高島公民館
○新規2館 ・吉備公民館 ・操山公民館

3 事業費

(1) 歳出額 8,000 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 8,000 千円

(前年度当初予算額 3,500 千円)

(今年度当初要求額 8,823 千円)

担当課名	中央図書館
担当者名	館長 宮本 嘉彦
電 話	直通 086-223-3373

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 図書館相互利用 拡充

1 事業の趣旨

自治体の枠を超えて「図書館の相互利用」に取り組むことで、連携市町住民の利便性向上を図ります。

2 事業内容

岡山連携中枢都市圏に参加する自治体のうち、5市4町(岡山市、玉野市、備前市、赤磐市、真庭市、和気町、早島町、美咲町、吉備中央町)において、平成29年11月から図書館相互利用(本の貸出等)を実施しています。

平成30年度からは相互返却(借りた図書館以外の図書館への返却)を実施します。

3 事業費

(1)歳出額	2,600 千円
(2)財源内訳	
・その他	225 千円
・一般財源	2,375 千円
(前年度当初予算額)	1,100 千円)
(今年度当初要求額)	3,103 千円)

担当課名	中央図書館
担当者名	館長 宮本 嘉彦
電 話	直通 086-223-3373

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 公民館Free Wi-Fi整備事業

新規

1 事業の趣旨

地域における情報化教育推進の拠点として、公民館のロビーにおいて利用可能な公衆無線LANのアクセスポイント(Free Wi-Fi)を整備し、利用者の利便向上を図ります。

2 事業内容

公衆無線LANのアクセスポイント(Free Wi-Fi)を公民館に整備し、公民館の利用者が公民館ロビーにおいて自らのパソコン等から公衆無線LANを利用して、インターネットに接続できるようにします。

3 事業費

(1)歳出額	189 千円
(2)財源内訳	
・一般財源	189 千円
(前年度当初予算額)	- 千円)
(今年度当初要求額)	201 千円)

担当課名	中央公民館
担当者名	館長 西崎 修
電 話	直通 086-272-7886

平成30年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 岡山ESDプロジェクト推進事業

1 事業の趣旨

岡山ESDプロジェクト2015－2019基本構想に基づき、全庁的に環境保全や国際理解等様々な分野でのESDの取組を進め、市民へのESDの理解浸透や活動の輪を拡大するなどESDの推進を図ります。

2 事業内容

＜学校教育や社会教育等へのESDの浸透に係る取組／48,959千円＞

○岡山ESDプロジェクトによるESD活動の推進(ESD推進課:16,500千円)

○ESD・ブルガリア交流事業(ESD推進課:4,899千円) 他

＜環境保全に係る取組／15,134千円＞

○自然保護事業(環境保全課:4,190千円) 他

＜国際理解に係る取組／15,210千円＞

○国際サマーホームステイ in OKAYAMA(国際課:4,710千円) 他

＜防災・まちづくりに係る取組／328,455千円＞

○自転車先進都市おかやま事業(交通政策課他:294,800千円)

○超小型モビリティの導入可能性検討(交通政策課:3,700千円)

○防災キャンプ推進事業(地域子育て支援課:2,274千円) 他

＜健康福祉・社会的公正に係る取組／16,475千円＞

○健康市民おかやま21(第2次)の推進(健康づくり課:14,862千円) 他

3 事業費

(1)歳出額 424,233 千円

(2)財源内訳

・国庫支出金 35,811 千円

・地方債 24,400 千円

・その他 22,801 千円

・一般財源 341,221 千円

(前年度当初予算額 592,425 千円)

(今年度当初要求額 469,626 千円)

担当課名	市民協働局ESD推進課
担当者名	課長 仁科 俊彦
電 話	内線 3761
	直通 086-803-1351

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 コミュニティ活動推進備品修繕等助成事業

1 事業の趣旨

地域住民の交流促進を目的とした町内会の行事等に必要な備品の修繕等に対し、その費用の一部を補助することにより、コミュニティの維持発展を図ります。

2 事業内容

(1) 補助対象団体

岡山市町内会名簿に掲載されている町内会(複数の単位町内会や学区・地区連合町内会も含む)

(2) 補助対象備品

町内会が所有・維持管理を行い、コミュニティ活動を推進するための行事等に必要な備品

3 事業費

(1) 歳出額 10,000 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 10,000 千円

(前年度当初予算額 10,000 千円)

(今年度当初要求額 10,000 千円)

担当課名	市民協働局市民協働企画総務課
担当者名	課長 赤木 和彦
電 話	内線 3270
	直通 086-803-1031

平成30年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 区まちづくり独自企画事業

新規

1 事業の趣旨

区役所が主体となって身近なまちづくりや地域課題の解決に取り組むために、区長会議などで施策等を企画調整しながら、各区のまちづくりを推進します。

身近な地域課題を対象に、区民の力を活かした健やかで安全・安心なまちづくりを進めます。

2 事業内容

(1) 地区防災訓練【北区】

区民が自ら考える防災訓練について、地区を募集、選定のうえ実施します。

(2) 地域の大学と区役所の包括連携による地域づくり事業【中区】

山陽学園大学・短期大学との包括連携協定に基づき、市と大学の教員と学生の連携により、高齢者等への健康・栄養指導相談を実施します。

(3) 自主防災会支援事業【東区】

東区の災害の歴史や地域活動の重要性についての防災シンポジウムを開催します。

(4) 地域防災力強化事業【南区】

防災専門家の派遣、防災訓練ハンドブック作成などを行い、防災への関心を高めます。

3 事業費

(1) 歳出額 10,000 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 10,000 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

(今年度当初要求額 10,000 千円)

担当課名	北区役所総務・地域振興課	中区役所総務・地域振興課
担当者名	課長 河本 文一	課長 猪早 倫子
電 話	内線 4190	内線 71-212
	直通 086-803-1655	直通 086-901-1601
担当課名	東区役所総務・地域振興課	南区役所総務・地域振興課
担当者名	課長 栗井 慎二	課長 宮安 好子
電 話	内線 72-211	内線 73-310
	直通 086-944-5006	直通 086-902-3500

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 岡山市・サンホセ市姉妹都市締結50周年記念事業

新規

1 事業の趣旨

岡山市とコスタリカ共和国・サンホセ市は昭和44年(1969年)1月に姉妹都市締結をして以来、10年毎の周年時に市民訪問団の相互派遣や、教育分野を重点とした交流などを行ってきました。

平成30年度は50周年の節目を迎えることから、記念事業として、市民訪問団の派遣やサンホセ市を紹介するパネル展を開催し、半世紀にわたる交流の足跡を振り返るとともに、これらの事業を契機として今後の継続的な交流の推進を図ります。

2 事業内容

(1) 岡山市民友好親善訪問団(サンホセ市)派遣 (平成31年1月頃)

- ・サンホセ市長表敬訪問
- ・サンホセ市内視察等

(2) サンホセ50周年関連事業

- ・サンホセパネル展の実施
- ・サンホセ50周年記念ロゴの公募

(平成31年度)

(3) サンホセ市公式訪問団の受入(平成31年10月頃)

- ・歓迎レセプション
- ・岡山市内視察等

3 事業費

(1) 歳出額 3,938 千円

(2) 財源内訳

- ・その他 1,325 千円
- ・一般財源 2,613 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

(今年度当初要求額 3,938 千円)

担当課名	市民協働局国際課
担当者名	課長 田中 哲也
電 話	内線 3250
	直通 086-803-1112

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕

伸ばそう健康寿命！

拡充

1 事業の趣旨

健康寿命の延伸にあたり、運動の普及・定着、高血圧や脳卒中予防に向けた食生活の改善、社会参加を柱に、健康づくりを進めていくための働きかけと健康状態の把握により病気等の予防を行い、医療費適正化につなげます。

2 事業内容

(1) 運動【歩いて楽しい】(38,250千円)

・SIBを活用した健康ポイント事業【新規】 10,000 千円

(2) 栄養・食生活【知って変わる】(3,465千円)

・かるうま(減塩)プロジェクト 2,500 千円

高血圧疾患等の予防のため減塩に対する普及啓発を行います。

(3) 社会参加【社会とつながる】(20,500千円)

・生涯現役社会づくり事業 20,000 千円

(4) 健康づくりの基盤(2,325,741千円)

・特定健康診査の実施(ワンコイン検診の実施)【新規】 343,900 千円

・がん検診、介護予防事業の実施 1,187,541 千円

定期的な健康状態の把握により健康状態悪化の防止に努めます。

3 事業費

(1) 歳出額 2,387,956 千円

(2) 財源内訳

・国庫支出金 106,766 千円

・県支出金 311,630 千円

・地方債 24,400 千円

・その他 222,417 千円

・一般財源 1,722,743 千円

(前年度当初予算額 2,413,346 千円)

(今年度当初要求額 2,522,077 千円)

担当課名	保健福祉局保健管理課
担当者名	課長 森峰 清
電 話	内線 5750
	直通 086-803-1251

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 SIBを活用した健康ポイント事業

新規

1 事業の趣旨

平成26年度に開始した健康ポイント事業による健康状態の維持改善効果、医療費抑制効果を波及させるため、社会的課題の解決を官民協働で実施するSIB方式*を取り入れた新たな健康ポイント事業を行います。

※SIB方式(ソーシャル・インパクト・ボンド)

民間事業者が、出資、融資等の資金調達により事業実施し、あらかじめ定めた成果指標の達成状況に応じて市が事業費を支出するものです。

2 事業内容

(1) 期間

平成30年度から平成34年度

(2) 対象者

35歳以上の市民等

(3) 事業内容

- ・歩くことに加え、運動プログラムへの参加、健康的な食生活の実施、健康イベントや地域の集いの場への参加など、「運動」「栄養・食生活」「生きがいつくり(社会参加)」に総合的に取り組み、各事業の参加に対し、インセンティブとしてポイントを付与します。
- ・平成30年度は事業実施に向けた広報を行います。

(4) 成果指標

参加人数の確保、BMIに基づく医療費抑制効果等

3 事業費

(1) 歳出額 10,000 千円

(2) 財源内訳

・その他 10,000 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

(今年度当初要求額 20,000 千円)

担当課名	保健福祉局保健管理課
担当者名	課長 森峰 清
電 話	内線 5750
	直通 086-803-1251

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 生涯現役社会づくり事業

1 事業の趣旨

今後の超高齢社会の進展を見据え、意欲のある高齢者が培った能力や経験を活かし、生涯現役で活躍し続けることができる社会環境を整えます。

2 事業内容

意欲ある高齢者と企業や地域社会など活躍できる場の双方を生涯現役応援センターに登録し、マッチングを行うことで、高齢者に活動の場を提供しています。平成27年度の開設後、多くの高齢者を児童施設や高齢者施設などのボランティアなどの活動につなげてきました。

平成30年度は、人員体制を強化することで、登録者と活動先のさらなる拡大を目指し、さらに、高齢者のニーズに合わせた雇用の推進のため、モデル企業を募り、短時間勤務や健康状態などのニーズに応じた就労への働きかけとマッチングを実施します。

また、市関係課や公民館・サロン等への事業の周知や、出張相談会・セミナー等の開催により、引き続き事業の推進に取り組みます。

3 事業費

(1)歳出額 20,000 千円

(2)財源内訳

・一般財源 20,000 千円

(前年度当初予算額 20,688 千円)

(今年度当初要求額 20,688 千円)

担当課名	保健福祉局地域包括ケア推進課
担当者名	課長 岸川 和忠
電 話	内線 5980
	直通 086-803-1246

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕

地域共生社会推進事業

新規

1 事業の趣旨

介護、障害、子育て、生活困窮など複雑化・複合化した課題を抱えた場合でも、「たらい回し」されることなく、早期かつスムーズに相談機関へつなぎ、適切な支援を行えるよう、総合的な相談支援体制づくりを推進します。

2 事業内容

(1) 総合的な相談支援ネットワークの推進

複雑・複合課題に対応するため、新たに相談支援包括化推進員を配置し、医療と暮らし(福祉)、就労など、一人ひとりや世帯が抱える課題に対応した総合的かつきめ細やかな支援を実施します。

- ・地域包括支援センターや寄り添いサポートセンターなどの相談機関に市民からの相談があった場合に、適切なサービスにつなげられるよう、相談支援包括化推進員が関係機関との調整を行い、相談機関に対して支援を行います。
- ・関係機関が一堂に会するケース検討会議を開催し、困難ケースなどに対応する個別支援プランを作成することにより、医療・暮らし(福祉)・就労など必要なサービスを漏れなく提供し、課題解決を図ります。
- ・現状の相談機関の役割分担やサービスでは解決が難しい事例について、関係機関による会議体を設置し、必要な制度改正や事業を実施していきます。

(2) 在宅で暮らす上でのサービス提供の見える化

市民や医療・介護等の専門職に対して、在宅支援が提供されるまでの流れや在宅での暮らしに関するリーフレットを提供し、在宅で暮らす上でのサービスの見える化を行います。

3 事業費

(1) 歳出額 20,000 千円

(2) 財源内訳

- ・国庫支出金 12,750 千円
- ・一般財源 7,250 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

(今年度当初要求額 23,722 千円)

担当課名	保健福祉局保健福祉企画総務課
担当者名	課長 井上 満千夫
電 話	内線 5830
	直通 086-803-1204

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 在宅医療介護連携推進事業

拡充

1 事業の趣旨

超高齢社会の中、市民が住み慣れた地域で最期まで安心して暮らすことができるように、医療・介護分野の連携機能を強化するとともに、安心を支える最適な地域医療システムを構築し、予防、診療から介護まで切れ目のないサービスを受けられる仕組みをつくります。

2 事業内容

(1)「地域ケア総合推進センター」

- ・ 市民及び専門職を対象とした医療・介護の相談・支援
- ・ 在宅医療推進・多職種連携の拠点
- ・ 地域包括支援センターの活動支援及び認知症ケアの推進

(2)在宅医療・介護連携基盤の確立

- ・ 地域の特性に応じた在宅医療・介護サービス提供体制の構築【新規】

地域特性に応じた入院から看取りまでの在宅医療・介護提供体制のあり方をワーキンググループ及びモデル事業の実施により検討・構築します。

- ・ 在宅医療・介護の推進に向けた取組の更なる発展

平成23年度から取り組んできた在宅医療・介護のさらなる推進に向けて、在宅医療・介護の担い手の確保・育成、多職種連携や医療・介護施設の連携と情報共有の促進、市民への普及啓発等の取組を実施します。

3 事業費

(1)歳出額 56,700 千円
 一般会計 27,954千円 介護保険費特別会計 28,746千円

(2)財源内訳

- ・国庫支出金 11,068 千円
- ・県支出金 5,534 千円
- ・その他 6,610 千円
- ・一般財源 33,488 千円

(前年度当初予算額 51,900 千円)

(今年度当初要求額 58,005 千円)

担当課名	保健福祉局医療政策推進課
担当者名	課長 大月 須美子
電 話	内線 5820
	直通 086-803-1636

平成30年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 在宅介護総合特区推進事業

1 事業の趣旨

在宅に特化した総合特区を推進し、地域包括ケアの発展・生涯現役社会の推進等に取り組み、将来負担の抑制を図るとともに、産業の振興も促し、超高齢社会を乗り越えることができる新しい社会経済モデルを構築します。

平成24年度から平成29年度まで、総合特区第1期として実施してきた通所介護サービスの質の評価やロボット技術を活用した新たな介護機器の貸与等の成果を踏まえ、平成30年度から第2期総合特区をスタートさせます。

2 事業内容

(1) デイサービス改善インセンティブ事業

通所介護事業所の介護サービスを評価し、利用者の状態の維持改善を図る事業所についてインセンティブを与えることで、事業所の介護サービスの質の向上を図ります。

(2) 介護機器貸与モデル事業

在宅で生活する人の利便性向上や自立につながる最先端の介護機器を1割負担で貸与します。

(3) 総合特区推進事務費

新たな規制緩和提案について国と協議を行います。また、協議が整ったものについては事業化を進め、実現した取組や事業について、広く周知します。

3 事業費

(1) 歳出額 49,300 千円

(2) 財源内訳

・国庫支出金	13,688 千円
・県支出金	6,844 千円
・その他	12,624 千円
・一般財源	16,144 千円

(前年度当初予算額 75,600 千円)

(今年度当初要求額 77,288 千円)

担当課名	保健福祉局医療政策推進課
担当者名	課長 大月 須美子
電 話	内線 5820
	直通 086-803-1636

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕

難病医療費助成等事業

新規

1 事業の趣旨

これまで都道府県が行っていた難病医療費に係る事務について平成30年4月1日から政令市に移譲され、岡山市において医療費の支給認定等を行います。あわせて新たに難病相談支援センターを設置することにより市民ニーズに沿った支援を実施します。

2 事業内容

(1) 医療費の支給事務

・医療費 約800,000千円、受給者数 約6,600人

(2) 指定医・指定医療機関の指定事務

(3) 難病相談支援センターを保健所内に設置

・療養生活や医療に関する各種相談と、福祉・医療制度の申請相談について、一体的な相談支援を実施します。
・難病患者・家族の交流活動の促進と、就労支援を実施します。

3 事業費

(1) 歳出額 833,000 千円

(2) 財源内訳

・国庫支出金 395,368 千円

・一般財源 437,632 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

(今年度当初要求額 838,050 千円)

担当課名	保健福祉局保健管理課
担当者名	課長 森峰 清
電 話	内線 5750
	直通 086-803-1251

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕

国民健康保険財政健全化推進事業

拡充

1 事業の趣旨

岡山市の国民健康保険は、被保険者が減少している一方、高齢者の割合が高く、医療費の高止まりが見込まれ、財政運営は、ますます厳しくなっていくことが想定されます。

平成30年度からの国保財政運営の都道府県化に際し、国・県から求められている一般会計からの赤字補填目的の法定外繰入の削減・解消のため、保険料率を改定します。

医療費適正化や国民健康保険料の収納率向上などの保険者努力に今後も継続して取り組みながら、国民健康保険財政の安定的な運営を図ります。

2 事業内容

(1) 医療費適正化推進事業【拡充】

・特定健康診査の自己負担額を500円に引き下げます(ワンコイン化)。

自己負担額を500円(ワンコイン)とし、受診しやすい健康診査を目指します。

・ジェネリック医薬品差額通知等事業

ジェネリック医薬品を利用した場合の自己負担額の差額を通知することで、同じ効果で低価格のジェネリック医薬品への切り替えを図ります。

・糖尿病性腎症重症化予防の徹底

糖尿病未治療または治療中断の可能性が高い方に医療受診を勧奨することで、適切な医療へとつなげ、合併症による重症化の予防を図ります。

(2) 保険料収納率向上特別対策事業

申告勧奨や不現住調査による賦課の適正化、電話催告、夜間納付相談等による滞納対策、口座振替促進による滞納未然防止対策等による滞納対策を強化していきます。

3 事業費

(1) 歳出額 455,800 千円

(2) 財源内訳

・県支出金 232,738 千円

・一般財源 223,062 千円

(前年度当初予算額 441,987 千円)

(今年度当初要求額 433,228 千円)

担当課名	保健福祉局国保年金課
担当者名	課長 小野 伸一
電 話	内線 5970
	直通 086-803-1136

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 特定健康診査の自己負担軽減(ワンコイン化)

新規

1 事業の趣旨

糖尿病をはじめとした生活習慣病の発症及び重症化の予防を目的とする特定健康診査の自己負担を軽減します。自己負担軽減による受診率向上により、被保険者負担の軽減及び医療費抑制を図ります。

2 事業内容

(1) 対象者

40歳から74歳までの国民健康保険加入者(約117,000人)

(2) 自己負担額

69歳以下の自己負担額を現在の2,050円から500円に引き下げます(ワンコイン化)。節目年齢時(40、50、60、66歳)の自己負担無料化は継続します。

(3) 検査内容

診察、身体計測、血圧検査、血液検査、尿検査等を実施し、医師の判断により心電図検査等を追加実施します。

(4) 受診率の向上

自己負担引下げにより受診率向上を目指します。

(5) 医療費抑制効果

生活習慣病の早期発見、重症化予防による医療費抑制効果を見込みます。さらに継続的な受診により医療費抑制効果を高めます。

3 事業費

(1) 歳出額 24,900 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 24,900 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

(今年度当初要求額 ー 千円)

担当課名	保健福祉局国保年金課
担当者名	課長 小野 伸一
電 話	内線 5970
	直通 086-803-1136

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕

ユニバーサルデザイン推進事業

新規

1 事業の趣旨

高齢者、障害者、妊婦や子ども連れの人、訪日観光客など、全ての人が安全で快適な社会生活を送れるよう、ユニバーサルデザイン・共生社会(以下「UD」という。)のまちづくりが求められています。

多様な市民が暮らすまちとして、岡山市の強みである「住みやすさ」に磨きをかけていくため、ハード・ソフト両面からUDのグランドデザインを描き、市民の意識醸成を図ることでUDを実現させるための取組みを一層進めていきます。

※「ユニバーサルデザイン」…施設や製品等について新しいバリア(物理的[ハード]な障壁のみならず、社会的、制度的、心理的[ソフト]なすべての障壁)が生じないよう誰にとっても利用しやすくデザインするという考え方。

2 事業内容

- (1)ユニバーサルデザイン・共生社会実行本部を設置し、全庁を挙げた検討を行うとともに、民間との検討の場を開催します。
- (2)ユニバーサルデザインに関する実態調査(アンケート調査等)を実施します。
- (3)障害者・高齢者・子育て世帯などの障壁を取り除き、誰にとっても利用しやすいデザインを推進し、「住みやすさ」に磨きをかけたまちづくりを目指すため、岡山市ユニバーサルデザイン・共生社会実行計画を策定します。

3 事業費

(1)歳出額 6,800 千円

(2)財源内訳

・一般財源 6,800 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

(今年度当初要求額 7,621 千円)

担当課名	保健福祉局障害福祉課
担当者名	課長 近藤 雅明
電 話	内線 5730
	直通 086-803-1235

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 バリアフリー基本構想の策定事業

新規

1 事業の趣旨

主要駅周辺等の多くの人々が集まる地区においては、高齢者や障害者等の施設利用や施設間移動の障害となる段差解消を行うなど、バリアフリー化を図る必要があります。

このため、バリアフリー化を推進する地区を定め、その地区内の公共交通機関、建築物、公共施設及びそれらを結ぶ経路についてバリアフリー化を推進する基本構想を策定し、移動等の円滑化に向けた取組を進めます。

2 事業内容

(1) 期間 平成30年度～平成31年度

(2) 内容 バリアフリー基本構想の検討

- ・主要駅周辺地区等のバリアフリー化実施状況の調査
- ・協議会の設置
- ・庁内検討会議の設置
- ・基本構想素案作成

3 事業費

(1) 歳出額 3,000 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 3,000 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

(今年度当初要求額 4,500 千円)

担当課名	都市整備局交通政策課
担当者名	課長 平澤 重之
電 話	内線 3620
	直通 086-803-1376

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 ヘルプマーク普及・促進事業

新規

1 事業の趣旨

聴覚障害者、内部障害者、知的障害者、妊婦など、一見助けが必要とはわからない方が周囲に自己の障害などの理解や助けを求める手段として、ストラップ型の「ヘルプマーク」を配付します。

援助等を必要としている方に対する市民の理解を深め、障害者の自立と社会参加の促進を目指します。

2 事業内容

(1) 対象者

聴覚障害者、内部障害者、知的障害者、妊婦その他の援助を必要としている方

(2) 申請方法及び使用方法

- ・福祉事務所、保健所などの窓口で申請及び交付を行います。
- ・外出時等に周囲の人の援助が必要な場合に、相手に提示し手助けを求めます。

(3) 啓発

福祉事務所や保健センターなどで現在配付中のヘルプカードと併せて、ヘルプマークの啓発を行うことにより、支援や配慮を必要としている方々への理解を深めます。

啓発チラシの作成、広報紙、ホームページ等での市民への啓発を行うとともに、障害者週間などの機会を活用し、マークの周知や「心のバリアフリー」に向けた取り組みを行います。

3 事業費

(1) 歳出額 1,600 千円

(2) 財源内訳

- ・国庫支出金 50 千円
- ・県支出金 25 千円
- ・その他 1,525 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

(今年度当初要求額 1,600 千円)

担当課名	保健福祉局障害福祉課
担当者名	課長 近藤 雅明
電 話	内線 5730
	直通 086-803-1235

平成30年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 障害者就労支援事業

1 事業の趣旨

就労は障害者の自立・社会参加の重要な柱となるので、障害者がその適性や能力に応じた多様な働き方を選択できるよう、福祉、雇用、教育等の各分野との連携を図りながら一般就労支援に取り組むとともに、一般就労が困難な障害者が働く障害者就労施設における工賃向上を支援します。

2 事業内容

(1) 障害者一般就労支援事業

- ・障害者を雇用する企業、職場実習の受入企業の開拓
- ・福祉施設から一般就労への移行支援
- ・障害者就職面接会開催
- ・面接会を通して企業に就職した障害者の職場定着の促進
- ・就労支援セミナー(年2～3回)、企業交流会等の開催(年2～3回)

(2) 障害者一般就労定着支援事業

- ・働く障害者のための交流拠点事業
働く障害者等が交流や相談ができる拠点の整備等により職場定着を推進
- ・障害者職場定着支援活動費補助金
障害者就労支援施設が一般就労している障害者に行う職場定着支援の費用を助成

(3) 障害者工賃向上支援事業

- ・障害者就労施設商品ブラッシュアップ事業
商品の改良・開発、販路拡大を支援し、工賃向上を促進
- ・障害者工賃レベルアップ支援事業
月額平均工賃が全国平均を下回る就労施設の経営改善を支援し、工賃向上を促進

3 事業費

(1) 歳出額 22,000 千円

(2) 財源内訳

- ・国庫支出金 2,900 千円
- ・県支出金 1,450 千円
- ・一般財源 17,650 千円

(前年度当初予算額 22,700 千円)

(今年度当初要求額 26,068 千円)

担当課名	保健福祉局障害福祉課
担当者名	課長 近藤 雅明
電 話	内線 5730
	直通 086-803-1235

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 障害者の地域生活への移行の推進

拡充

1 事業の趣旨

障害者等やその家族の地域生活で生じる緊急事態への対応や地域生活に必要なサービス提供体制を整備することにより、障害者が安心して地域生活へ移行し、また、地域生活を継続できるよう、事業所への助成を行います。

2 事業内容

(1) 相談支援体制の拡充

平成29年度に整備された地域生活支援拠点に対して、相談支援やサービスの提供に必要な専門的人材の育成や地域生活への移行に向けた体験宿泊の場を提供するなどの機能強化を支援します。

(2) 訪問入浴サービス

平成29年10月から開始した訪問入浴サービスの継続実施により、自宅の入浴設備が十分でない等の理由で、在宅での入浴が困難、かつ、通所(生活介護)による入浴支援を受けることが困難な在宅の重度障害者の地域生活を支援します。

3 事業費

(1) 歳出額 66,300 千円

(2) 財源内訳

・国庫支出金 33,150 千円
・県支出金 16,575 千円
・一般財源 16,575 千円

(前年度当初予算額 31,500 千円)

(今年度当初要求額 66,449 千円)

担当課名	保健福祉局障害福祉課
担当者名	課長 近藤 雅明
電 話	内線 5730
	直通 086-803-1235

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕

生活困窮者自立支援事業

拡充

1 事業の趣旨

生活困窮者自立支援法に基づき、経済的に困窮し、最低限度の生活を維持できなくなるおそれのある者を対象に自立支援事業を実施します。

2 事業内容

生活困窮状態にある者に対して、生活保護に至る前の段階で、対象者の状態に応じた支援を行い、困窮状態からの早期脱却を支援します。

(1) 自立相談支援事業 【拡充】

困窮者からの相談を幅広く受け、既存の制度・福祉サービス等を活用し、専門支援機関等と連携しながら、一人ひとりの状況に応じて、生活の安定に向けた支援を行います。

(2) 住居確保給付金の支給

離職者等で、所得が一定水準以下の者に対し、有期で家賃相当額を給付します。

(3) 就労準備支援事業

直ちに一般就労が困難な困窮者に、就労に向けて生活訓練や社会訓練を有期で実施します。

(4) 一時生活支援事業

住居のない困窮者に一定期間、宿泊場所・衣食を提供し、就労等自立に向けて支援します。

(5) 家計相談支援事業

家計に問題を抱える困窮者が自ら家計管理できるよう支援します。

(6) 学習支援事業 【拡充】

生活保護受給世帯の中学生等を対象に個別学習・相談支援を行い高校進学を支援するとともに、進学後の中退防止等に取り組みます。

(7) 就労訓練事業の推進

就労訓練事業の認定を受けた法人の事業開始に係る経費に対して助成を行います。

3 事業費

(1) 歳出額 130,830 千円

(2) 財源内訳

・国庫支出金 87,931 千円

・一般財源 42,899 千円

(前年度当初予算額 124,995 千円)

(今年度当初要求額 131,257 千円)

担当課名	保健福祉局生活保護・自立支援課
担当者名	課長 谷杉 典子
電 話	内線 5940
	直通 086-803-1349

平成30年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 生活保護適正実施の推進

1 事業の趣旨

稼働能力を有する生活保護受給者に対し、様々な角度から就労支援を行うとともに、生活保護費の約半分を占める医療扶助の適正化を図ること等により、生活保護制度の適正実施を推進します。

2 事業内容

(1) 生活保護受給者就労支援事業

稼働能力を有する生活保護受給者に対し、様々な角度から個々の対象者の状況に応じた就労支援を行うことにより能力活用及び世帯の自立を促進します。

- ・就労支援相談員が職業相談や求人情報の提供などを行います。
- ・ハローワーク岡山と共同で、就労支援を行います。
- ・就職サポート事業及び就労準備支援事業の実施により、対象者の就労意欲の向上や就労に向けた基礎能力の向上を支援します。

(2) 医療扶助適正化推進事業

後発医薬品の使用促進、適正受診指導や健康面に着目した支援による生活習慣病等の重症化予防等により、医療扶助の適正化を図るとともに、自立を促進します。

- ・医療扶助適正化推進員がレセプトの点検を行い、不適切な頻回受診や重複処方等の適正化を推進します。
- ・専門員配置等により、後発医薬品の使用促進を行います。
- ・保健師による生活習慣(食習慣、運動習慣等)改善のための保健指導等を実施します。

(3) 要保護世帯向け不動産担保型生活資金貸付事業補助金

社会福祉法人岡山県社会福祉協議会が行う要保護世帯向け不動産担保型生活資金貸付に要する費用に対し補助金を交付します。

3 事業費

(1) 歳出額 113,318 千円

(2) 財源内訳

- ・国庫支出金 82,729 千円
- ・一般財源 30,589 千円

(前年度当初予算額 100,212 千円)

(今年度当初要求額 116,478 千円)

担当課名	保健福祉局生活保護・自立支援課
担当者名	課長 谷杉 典子
電 話	内線 5940
	直通 086-803-1349

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 訪問介護看護事業所等の整備

拡充

1 事業の趣旨

岡山市第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(平成30年度～平成32年度)に定める必要なサービス量を確保するため、岡山県地域医療介護総合確保基金事業費補助金を活用し、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所及び看護小規模多機能型居宅介護事業所の開設整備を支援します。

2 事業内容

(1) 内容

新規事業所の参入・開設を促すため、事業所開設費用(ハード・ソフト)に対して補助を行います。

(2) 平成30年度対象施設

定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 : 5事業所

日中・夜間を通じて定期的な巡回と随時の通報による居宅への訪問を行い、介護や看護、緊急時の対応など、要介護者の在宅生活を支援する事業所

看護小規模多機能型居宅介護事業所 : 1事業所 【新規】

利用者の様態や希望に応じて、通所を中心に訪問(介護・看護)・短期間の宿泊などのサービスを柔軟に組み合わせて提供することで、医療ニーズの高い要介護者の在宅生活を支援する事業所

3 事業費

(1) 歳出額 117,439 千円

(2) 財源内訳

・県支出金 117,439 千円

(前年度当初予算額 79,850 千円)

(今年度当初要求額 117,439 千円)

担当課名	保健福祉局事業者指導課
担当者名	課長 松尾 隆通
電 話	内線 3087
	直通 086-212-1013

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕

下水道・河川による浸水対策事業

拡充

1 事業の趣旨

近年の集中豪雨等による浸水被害の軽減を図るため、岡山市浸水対策の推進に関する条例に基づき平成29年10月に策定した浸水対策基本計画に基づき、市民、事業者と連携した総合的な浸水対策に取り組めます。特に平成23年9月の台風12号による大規模な浸水被害等を踏まえ、浦安排水区雨水幹線整備事業に着手するなど着実な浸水対策を推進します。

2 事業内容

- (1) 市民、事業者との協働、意識啓発による地域防災の推進
 - ・市民設置の雨水貯留施設への助成
 - ・小学校への雨水貯留施設設置事業
 - ・事業者設置の雨水流出抑制施設への助成【拡充】
- (2) ゲリラ豪雨等に対応した管理の高度化
 - ・下水道管への雨水流入ゲートの操作時間短縮のための遠隔操作化事業
- (3) 効率的な浸水対策の検討
 - ・今保排水区浸水対策検討事業【新規】
 - ・浜排水区局所的浸水対策検討事業【新規】
- (4) 計画的な下水道整備
 - ・浦安排水区雨水幹線整備事業(第1期)【新規】
 - ・瀬戸雨水ポンプ場ポンプ増設工事
 - ・芳田地区における下水道管への雨水流入ゲート整備工事【新規】
- (5) 計画的な河川整備
 - ・倉安川流域治水対策河川改修工事

3 事業費

(1) 歳出額	917,100 千円
(2) 財源内訳	
・国庫支出金	381,550 千円
・地方債	450,100 千円
・一般財源	85,450 千円

(前年度当初予算額 763,620 千円)

(今年度当初要求額 1,220,000 千円)

担当課名	下水道河川局下水道河川計画課
担当者名	課長 山川 圭一
電 話	内線 4970
	直通 086-803-1499

平成30年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 浸水対策特別事業

1 事業の趣旨

増加する集中豪雨に伴い局所的な浸水被害が頻発している中、より効果的に浸水対策を行うためには、下水道、河川、農林、道路等の関係部局が連携し、対策に取り組んで行くことが重要です。このため、各所管の排水施設等を最大限有効活用し、局所的ながらも即効性のある浸水対策に取り組めます。

2 事業内容

(1) 排水機場整備及びポンプの増設

- ・藤田地区排水機場基本設計業務委託【新規】
- ・植松地区における排水機場詳細設計業務委託
- ・小串地区における排水機場ポンプ設置工事

(2) 緊急時内水排除ポンプの配備(可搬式ポンプ)

(3) 既存用水路等の整備、改良等による排水能力の向上

- ・雨水排水を担う普通河川、用水路の浚渫事業
- ・樋門の操作時間の短縮、操作員の負担軽減を図る為の電動化等工事

3 事業費

(1) 歳出額 176,200 千円

(2) 財源内訳

- ・地方債 99,800 千円
- ・一般財源 76,400 千円

(前年度当初予算額 250,100 千円)

(今年度当初要求額 176,200 千円)

担当課名	雨水排水対策マトリックス班
担当者名	班長 尾藤 博
電 話	内線 4902
	直通 086-803-1496

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 市場耐震改修整備事業

1 事業の趣旨

岡山市中央卸売市場及び岡山市花き地方卸売市場(以下「市場」という。)において、地震による建築物の倒壊等の被害から市場関係者の生命、身体及び財産を保護し、災害に強い市場を実現するため、現行の耐震基準を満たしていない卸売棟の耐震化を進めます。

2 事業内容

(1) 概要

青果卸売棟、水産卸売棟及び花き卸売棟の耐震改修工事を行います。

(2) 完了予定

平成32年3月

3 事業費

(1) 歳出額 244,000 千円

(2) 財源内訳

- ・国庫支出金 81,333 千円
- ・地方債 162,600 千円
- ・一般財源 67 千円

(前年度当初予算額 41,160 千円)

(今年度当初要求額 244,000 千円)

担当課名	市場事業部
担当者名	事業担当課長 小川 卓志
電 話	内線 3084
	直通 086-265-8001

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 橋梁長寿命化対策・耐震補強事業

1 事業の趣旨

南海トラフ巨大地震等の発生時に、救急活動や緊急物資輸送のための道路交通を確保する必要があり、また、市管理橋梁の老朽化対策と適切な維持管理が課題となっています。

そこで、平時より計画的に優先度の高い橋梁から順次耐震補強や長寿命化対策を実施します。

2 事業内容

(1) 事業内容

- ・ 橋長2m以上の橋梁の定期点検(910橋)
- ・ 長寿命化のための詳細設計の実施(15橋)
- ・ 橋梁補修工事の実施(12橋)
- ・ 耐震補強工事の実施(3橋)
- ・ 耐震補強工事の工事委託(1橋)

(2) 事業期間 平成21年度～平成34年度

3 事業費

(1) 歳出額 1,210,000 千円

(2) 財源内訳

- ・ 国庫支出金 663,500 千円
- ・ 地方債 442,200 千円
- ・ 一般財源 104,300 千円

(前年度当初予算額 1,156,000 千円)

(今年度当初要求額 1,210,000 千円)

担当課名	都市整備局道路港湾管理課
担当者名	課長 大林 弘明
電 話	内線 3660
	直通 086-803-1416

平成30年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 住宅・建築物耐震改修等補助事業

拡充

1 事業の趣旨

南海トラフによる巨大地震の発生が予見されるなか、平成32年度の各種建築物の耐震化率95%に向け、木造住宅及び建築物の耐震診断、改修等の補助を行い、耐震化の促進を図ります。

2 事業内容

(1) 補助対象

市内に存する住宅・建築物で、昭和56年5月31日以前に着工された建物で、かつ、所有者が市税を完納しているなど市の要綱に合致しているもの

(2) 診断・改修補助内容

	区分	内容	補助率	補助額(上限額)
耐震診断	木造住宅	耐震診断補強計画	定額	200㎡以下 60千円、200㎡超え 68千円
	戸建て住宅	耐震診断	2/3	88千円
	建築物	耐震診断	2/3	1,500千円～3,000千円 (用途・規模により異なる)
	要安全確認計画記載建築物	耐震診断	1/1 (国直接補助含む)	床面積に応じた上限単価設定あり
耐震改修	木造住宅	全体改修	1/2	800千円
		部分改修等		50～400千円
	要安全確認計画記載建築物【新規】	補強設計	2/3	3,500千円
		耐震改修・解体		20,000千円
	大規模建築物	補強設計	2/3	5,000千円
		耐震改修	23%	48,000千円(補強設計補助額を除く)

3 事業費

(1) 歳出額 200,000 千円

(2) 財源内訳

・国庫支出金 93,714 千円
 ・県支出金 53,141 千円
 ・一般財源 53,145 千円

(前年度当初予算額 183,400 千円)

(今年度当初要求額 217,028 千円)

担当課名	都市整備局建築指導課
担当者名	課長 大月 宏行
電 話	内線 4610
	直通 086-803-1445

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 用水路等安全対策事業

1 事業の趣旨

岡山市は、市域南部を中心に約4,000kmの用水路が縦横に張り巡らされており、近年、転落死亡事故が多発するなど、その対応が喫緊の課題となっています。

このような状況をふまえ、用水路等の危険箇所に対する安全対策を図るため、平成28年度に実施した用水路等一斉点検により把握した転落危険箇所等について、優先度の高い箇所から集中的に対策工事を実施します。

2 事業内容

用水路危険箇所の安全対策工事の実施

平成29・30年度で危険性の高い約900箇所について、集中的に転落防止柵等を設置

- ・平成29年度実績見込み:約430箇所
- ・平成30年度対策予定:約470箇所

3 事業費

(1)歳出額 300,000 千円

(2)財源内訳

・一般財源 300,000 千円

(前年度当初予算額 339,500 千円)

(今年度当初要求額 341,260 千円)

担当課名	産業観光局農村整備課	都市整備局道路港湾管理課
担当者名	課長 西野 篤範	課長 大林 弘明
電 話	内線 4570	内線 3660
	直通 086-803-1348	直通 086-803-1416

平成30年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 水道施設・管路耐震化等更新事業

1 事業の趣旨

水道水の安定供給にも寄与しつつ、南海トラフ巨大地震に備え、災害被害の極小化と最低限の給水確保を図ります。

2 事業内容

(1) 老朽化した管路の更新

・半田山線(北区学南町～大供本町) のシールドトンネル築造工事

(2) 災害時に拠点となる施設へ至る管路の耐震化

(3) 新規の給水に伴う管路の整備

(4) 下水など公共施設の整備に伴う管路の移設

(5) 電気・機械設備の更新

・段原、山浦取水場 取水ポンプ取替工事

・三野浄水場配水ポンプ整備工事

(6) 旭東浄水場集中監視制御設備更新

3 事業費

(1) 歳出額 7,209,000 千円

(2) 財源内訳

・国庫支出金 33,450 千円

・地方債 1,200,000 千円

・その他 26,200 千円

・一般財源 5,949,350 千円

(前年度当初予算額 7,559,000 千円)

(今年度当初要求額 7,350,181 千円)

担当課名	水道局経営管理課
担当者名	課長 石井 昌生
電 話	直通 086-234-5914

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 下水道施設の再構築(リノベーション)事業 **拡充**

1 事業の趣旨

下水道施設、農業集落排水施設の老朽化による下水道施設の機能停止などを未然に防止するため、下水道施設の改築更新、耐震化を行います。また、改築更新には多額の経費が見込まれることから、経費の削減を図りながら、施設の統廃合など、計画的な下水道施設の再構築(リノベーション)を進めます。

2 事業内容

(1) 下水処理場の統廃合

- ・芳賀佐山、流通団地浄化センターの児島湖流域下水道への統廃合に向けた幹線管きよ整備等

(2) 農業集落排水施設の統廃合

- ・農業集落排水施設の統廃合に向けた最適整備構想(個別の施設の対策工法、コスト、実施時期、優先度等を取りまとめ、予算の平準化等を図った計画)の策定

(3) 施設の長寿命化

- ・岡南ポンプ場長寿命化・耐震化工事【新規】
- ・岡東ポンプ場長寿命化・耐震化工事【新規】
- ・笹ヶ瀬ポンプ場、旭西排水センターほか長寿命化工事
- ・瀬戸浄化センターほか長寿命化工事
- ・ストックマネジメント(施設を計画的かつ効率的に管理するための)計画策定【新規】

3 事業費

(1) 歳出額 3,504,733 千円

(2) 財源内訳

- ・国庫支出金 1,450,240 千円
- ・地方債 1,947,800 千円
- ・一般財源 106,693 千円

(前年度当初予算額 3,313,047 千円)

(今年度当初要求額 3,505,434 千円)

担当課名	下水道河川局下水道河川計画課
担当者名	課長 山川 圭一
電 話	内線 4970
	直通 086-803-1499

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕

下水道施設の耐震化対策の推進

拡充

1 事業の趣旨

南海トラフ巨大地震の発生が想定される中、下水道施設の機能停止などを未然に防止するため処理場、ポンプ場等の耐震化を計画的に進めます。

また、災害時の避難所等における衛生環境を確保するため、災害用トイレとして、マンホールトイレを整備します。

2 事業内容

(1) 南海トラフ巨大地震の発生に備え、耐震対策の推進

- ・笹ヶ瀬ポンプ場耐震化ほか工事【新規】
- ・岡南ポンプ場長寿命化・耐震化工事(再掲)
- ・岡東ポンプ場長寿命浄化・耐震化工事(再掲)
- ・管路の耐震化調査

(2) 災害用マンホールトイレの整備

- ・災害用マンホールトイレ整備事業【新規】

3 事業費

(1) 歳出額 764,200 千円

(2) 財源内訳

- ・国庫支出金 382,100 千円
- ・地方債 344,600 千円
- ・一般財源 37,500 千円

(前年度当初予算額 695,845 千円)

(今年度当初要求額 764,200 千円)

担当課名	下水道河川局下水道河川計画課
担当者名	課長 山川 圭一
電 話	内線 4970
	直通 086-803-1499

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 地域防災力の向上

1 事業の趣旨

災害に強く安全・安心に暮らせるまちを目指し、備蓄の推進や地域防災力の向上を図ります。

2 事業内容

(1) 自主防災会の育成事業

- ・自主防災会結成時や防災訓練実施時に、防災資機材の給付を行います。
- ・自主防災会による地域防災マップの作成支援として、地域防災マップの印刷費用を助成します。
- ・地域の防災リーダーを育成するため、市民を対象に防災まちづくり学校の開催、公民館職員及び町内会役員等への防災講習会を実施します。

(2) 備蓄の推進

- ・家庭内備蓄の周知啓発を行います。
- ・「岡山市備蓄計画」(平成30年2月修正予定)に基づき、備蓄事業を推進します。

(3) 総合防災訓練等の実施

- ・区本部が主体的に避難所運営できるよう訓練を実施します。
- ・地元住民が参加して避難所運営訓練を実施します。

3 事業費

(1) 歳出額 70,442 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 70,442 千円

(前年度当初予算額 110,885 千円)

(今年度当初要求額 77,221 千円)

担当課名	危機管理室
担当者名	地域防災担当課長 倉橋 正浩
電 話	内線 5854
	直通 086-803-1082

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 本庁舎整備事業

新規

1 事業の趣旨

本庁舎は不特定多数の者が利用し、災害時の拠点にもなる重要な施設ですが、昭和43年の建設から約50年が経過し、老朽化が進んでいます。

加えて現行の耐震基準を満たしていないため耐震性が低く、大規模地震の発生時には倒壊又は崩壊の危険性が高いという耐震診断結果が出るなど、早急な対応が必要な状況にあることから、本庁舎の耐震化に向けた整備を進めます。

2 事業内容

平成25、26年度に実施した「岡山市本庁舎耐震化等」の検討を踏まえ、本庁舎整備に係る基本構想を策定します。

(1) 本庁舎整備の必要性の整理

- ・ 現状と課題、検討経緯を踏まえた整理(建替え又は耐震改修)

(2) 基本方針

- ・ 目指す本庁舎の姿

(3) 基本方針を踏まえた検討

- ・ 庁舎に必要な機能や規模、発注方式他

3 事業費

(1)歳出額 14,000 千円

(2)財源内訳

・一般財源 14,000 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

(今年度当初要求額 17,000 千円)

担当課名	総務局庁舎管理課
担当者名	課長 板野 吉浩
電 話	内線 4420
	直通 086-803-1152

平成30年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 消防署所適正配置事業

1 事業の趣旨

増加する救急需要と多様化する各種災害に的確に対応するため、消防力のバランスに配慮した適正な場所に消防署所を配置、維持管理し、いついかなる時も、求める人すべてに等しく、より安心して質の高い消防サービスを提供します。

2 事業内容

(1) 消防局総合計画(消防署所適正配置)に基づき、消防力のバランスに配慮し、中消防署旭東出張所を中区倉田地内に新築移転します。

平成30年度: 用地購入、地質調査、実施設計等

平成31年度: 建築

平成32年度: 運用開始

(2) その他、消防施設の整備や解体処分等を計画的に実施します。

3 事業費

(1) 歳出額 78,598 千円

(2) 財源内訳

・地方債 69,000 千円

・一般財源 9,598 千円

(前年度当初予算額 20,459 千円)

(今年度当初要求額 81,225 千円)

担当課名	消防局消防企画総務課
担当者名	課長 上田 匡
電 話	内線 3770
	直通 086-234-9970

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕

救急業務ICT化事業

新規

1 事業の趣旨

岡山県救急医療情報システムと消防指令システムを連携したモバイル端末を救急車に積載することで、救急隊による効率的な病院選定で病院到着時間を短縮させ、現場からの具体的な情報伝達により傷病者に対して早期処置が施せるものとします。また、傷病者にとって適切な搬送を実施したかを医療機関で事後検証が行える体制を構築することにより、救命率の向上を目指します。

2 事業内容

救急現場で医療機関情報の閲覧や傷病者情報の送信ができるタブレットを導入し、病院到着時間の短縮や傷病者への早期処置の実現を図ります。さらに、岡山県救急医療情報システムと消防指令システムを連携させ、医療機関において搬送実績の閲覧を可能とし、傷病者にとって最良の救急活動の検証が行えるよう整備を行います。

3 事業費

(1)歳出額 24,000 千円

(2)財源内訳

・一般財源 24,000 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

(今年度当初要求額 24,742 千円)

担当課名	消防局情報指令課
担当者名	課長 境 由夫
電 話	内線 3774
	直通 086-253-9982

平成30年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 『「安全で安心なまちづくり」岡山市行動プラン』に基づく事業

1 事業の趣旨

刑法犯認知件数の減少と体感治安の向上を目標として、平成27年11月に岡山市と岡山県警察本部との間で締結した覚書『「安全で安心なまちづくり」岡山市行動プラン』に基づいて、市民生活の安全・安心のため、交通安全及び防犯において様々な施策を実施していきます。

2 事業内容

(1) 自転車安全運転免許証交付事業

市民への正しい自転車の交通ルールやマナーの周知と市民の交通安全意識の一層の向上を図るため、児童が自転車を本格的に乗り始める段階で交通ルールやマナーを楽しく学び、交通安全意識を高めることにより、自転車事故の防止につなげます。

(2) 特殊詐欺等被害対策電話機設置支援事業

特殊詐欺被害の未然防止を図るため、詐欺対策機能付き電話機の購入支援を行うとともに、設置後の事業効果を分析するため、アンケート調査を行います。

(3) 地域防犯ボランティア支援事業

地域の防犯ボランティア団体等に対して現地指導や啓発活動などを行います。

3 事業費

(1) 歳出額 4,600 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 4,600 千円

(前年度当初予算額 5,370 千円)

(今年度当初要求額 5,310 千円)

担当課名	市民生活局生活安全課
担当者名	課長 安部 裕嗣
電 話	内線 3230
	直通 086-803-1277

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 緊急情報伝達手段の整備事業

新規

1 事業の趣旨

大規模自然災害等が発生したときに、避難行動の遅れ等で多数の死傷者が発生しないよう情報伝達手段の充実を図る施策を実施します。

2 事業内容

市民に対する緊急情報伝達手段の充実を図るため、計画的な機器更新及び新たな技術への対応など、岡山市全域における緊急情報伝達通信機器(防災行政無線等)の更新や機能強化に関する基本設計等を行います。

3 事業費

(1)歳出額	7,300 千円
(2)財源内訳	
・一般財源	7,300 千円
(前年度当初予算額	— 千円)
(今年度当初要求額	40,000 千円)

担当課名	危機管理室
担当者名	危機管理担当課長 田淵 康弘
電 話	内線 5850
	直通 086-803-1082

平成30年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 地球温暖化対策推進事業

1 事業の趣旨

国民運動「COOL CHOICE(賢い選択)」と連携し、あらゆる世代に対して地球温暖化防止への意識の醸成を図るとともに、地域特性を活かした地産地消・自立分散型のエネルギーシステムの構築や、水素をはじめとする新エネルギーの利活用を進めることにより、温室効果ガスの削減を図り低炭素社会の実現を目指します。

2 事業内容

(1) 水素社会の実現に向けた「燃料電池自動車普及促進事業」

岡山市南区に岡山県では初となる商用水素ステーションが整備されることに合わせて、水素を燃料とする燃料電池自動車の普及を目指し、公用車としての率先導入や導入された個人・事業者への助成制度を創設します。

(2) スマートコミュニティの実現に向けた「面的スマートエネルギー導入促進事業」

国が進めるZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)やZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の取組に併せて、「面的」なエネルギー利用の最適化・効率化を促進させる助成制度を創設します。

(3) 市民と連携した低炭素社会の実現に向けた「COOL CHOICE普及啓発事業」

地元トップチームとの連携による普及啓発や、スーパーマーケットで地産地消や環境に配慮した商品の紹介などを通じて、COOL CHOICEの普及を図ります。

3 事業費

(1) 歳出額 308,200 千円

(2) 財源内訳

・県支出金 27,057 千円

・その他 9,240 千円

・一般財源 271,903 千円

(前年度当初予算額 327,310 千円)

(今年度当初要求額 376,318 千円)

担当課名	環境局環境保全課
担当者名	課長 槇尾 卓己
電 話	内線 3990
	直通 086-803-1282

平成30年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 開発事業に対する環境配慮の推進

1 事業の趣旨

大規模な開発事業について、事業者が、環境への影響の調査・予測・評価を行い、周辺住民などからの意見を踏まえて、より環境に配慮した事業計画とするための「環境影響評価制度」の導入を推進します。

2 事業内容

環境影響評価制度の導入

平成29年度の条例制定(予定)を踏まえ、平成30年度は、対象事業の規模要件等を規定する「施行規則」や、事業が及ぼす環境への影響に関する調査・予測・評価の手法等を定める「技術指針」の策定に取り組み、平成31年4月1日の制度導入を目指します。

3 事業費

(1)歳出額	3,300 千円
(2)財源内訳	
・一般財源	3,300 千円
(前年度当初予算額)	4,770 千円)
(今年度当初要求額)	4,250 千円)

担当課名	環境局環境保全課
担当者名	課長 槇尾 卓己
電 話	内線 3990
	直通 086-803-1284

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 ごみ処理広域化対策事業

1 事業の趣旨

平成25年度に岡山市、玉野市、久米南町で構成する岡山ブロックにおいて、老朽化している各市町の可燃ごみ処理施設(焼却施設)(岡山市岡南環境センター、玉野市東清掃センター、岡山市久米南町衛生施設組合クリーンセンター)の広域処理化に向けた検討を行うことで合意し、平成26年度には、岡山ブロックごみ処理広域化基本計画を策定、平成28年度には、玉野市、久米南町が岡山市へ施設の建設、運営等について事務委託することを決定しました。

今後、可燃ごみ広域処理施設の平成37年度稼働に向けて施設整備を行います。

2 事業内容

(1) 内容

日量200tの可燃ごみの処理が可能な広域処理施設(焼却施設)の建設に適した用地の選定を行い、候補地決定後、施設整備計画の策定等を実施します。

(2) 期間

平成26年度～平成37年度

(3) 実施主体

岡山市(玉野市及び久米南町から事務委託)

3 事業費

(1) 歳出額 440 千円

(2) 財源内訳

・その他 168 千円

・一般財源 272 千円

(前年度当初予算額 14,500 千円)

(今年度当初要求額 37,975 千円)

担当課名	環境局環境施設課
担当者名	課長 福林 繁
電 話	内線 3980
	直通 086-803-1311

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 下水道未普及対策推進事業

拡充

1 事業の趣旨

岡山市の汚水処理人口普及率は81.9%(下水道処理人口普及率66.1%)であり、未だに12万8千人の市民が汚水処理施設を利用できない状況にあります。このため、未普及地区の早期解消に向け、概ね10年間の整備計画であるアクションプランに基づき、計画的な下水道の整備に取り組みます。

2 事業内容

(1) 新たに着手する地区の未普及対策推進事業

- ・高松、吉備津、牟佐地区の基本設計業務委託
- ・笹ヶ瀬右岸幹線の設計及び工事及び牟佐幹線の基本設計業務委託

(2) 既に着手している地区の未普及対策推進事業

- ・撫川、妹尾、一宮、津高、今在家、桑野、東平島地区などの市街地における下水道整備

3 事業費

(1) 歳出額 5,248,033 千円

(2) 財源内訳

- ・国庫支出金 680,430 千円
- ・地方債 4,388,900 千円
- ・一般財源 178,703 千円

(前年度当初予算額 5,047,376 千円)

(今年度当初要求額 5,249,030 千円)

担当課名	下水道河川局下水道河川計画課
担当者名	課長 山川 圭一
電 話	内線 4970
	直通 086-803-1499

平成30年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 合併処理浄化槽設置補助金事業

1 事業の趣旨

健康で快適な暮らしや良好な水環境の保全を図るため、合併処理浄化槽と下水道等との役割分担による総合的な生活排水処理対策に取り組んでいます。

下水道計画区域外や当面整備予定がない区域で、自宅に合併処理浄化槽を設置する個人に対して、申請に基づき補助金を交付しています。

また、既存住宅で汲取り便所・単独処理浄化槽から、し尿と生活雑排水を併せて処理する合併処理浄化槽に設置替えする場合には、補助金の上乗せを行い、合併処理浄化槽の設置促進を図ります。

2 事業内容

(1) 合併処理浄化槽の新設に対する補助

・国基準額(5人槽 332千円 など)による補助

(2) 既存住宅での汲取り便所・単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への設置替えに対する補助

・国基準に25%上乗せ(5人槽 415千円 など)による補助

3 事業費

(1) 歳出額 431,606 千円

(2) 財源内訳

・国庫支出金 156,523 千円

・一般財源 275,083 千円

(前年度当初予算額 434,707 千円)

(今年度当初要求額 431,606 千円)

担当課名	環境局環境保全課
担当者名	課長 榎尾 卓己
電 話	内線 3990
	直通 086-803-1294

平成30年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 し尿処理施設の整備・効率化

1 事業の趣旨

岡山市最大のし尿処理施設である一宮浄化センターの老朽化に伴い、処理施設の改修工事を行います。あわせて面積を2分の1程度にするなど小型化を図るとともに、公共下水道へ接続し排水することにより維持管理コストの削減を図ります。

2 事業内容

(1) 内容

前処理脱水機の設置工事及びプラント設備の更新工事

し尿処理施設の負荷を軽減し、施設をコンパクト化するための前処理脱水機を新たに設置するとともに、老朽化したし尿処理プラント設備の改修工事を行います。

(2) 期間

平成26年度～平成30年度

3 事業費

(1) 歳出額 1,149,000 千円

(2) 財源内訳

・国庫支出金	298,441 千円
・地方債	711,400 千円
・その他	117,899 千円
・一般財源	21,260 千円

(前年度当初予算額 925,118 千円)

(今年度当初要求額 1,219,004 千円)

担当課名	環境局環境施設課
担当者名	課長 福林 繁
電 話	内線 3980
	直通 086-803-1311

平成30年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 岡山連携中枢都市圏ビジョンに基づく連携取組の推進

1 事業の趣旨

圏域住民の安全・安心な暮らしを持続的に支えるとともに、圏域外の方に「住んでみたい」と思われる、活力と魅力あふれる圏域づくりを目指し、「岡山連携中枢都市圏ビジョン」に掲げる具体的取組を連携市町とともに推進します。

2 事業内容

(1) 岡山都市圏連携協議会の開催(8市5町の長で構成)

岡山連携中枢都市圏ビジョンの取組内容に関する協議を行います。

(2) 岡山連携中枢都市圏ビジョン懇談会の開催(外部有識者等で構成)

事務事業の前年度の取組実績、当該年度の取組内容及び進捗状況について、意見・提案の聴取を行います。

圏域を構成する市町の名称

岡山市、津山市、玉野市、総社市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、和気町、早島町、久米南町、美咲町、吉備中央町

3 事業費

(1) 歳出額 2,300 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 2,300 千円

(前年度当初予算額 6,500 千円)

(今年度当初要求額 2,398 千円)

担当課名	政策局政策企画課
担当者名	大都市・広域行政担当課長 安東 功夫
電 話	内線 3585
	直通 086-803-1043

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 瀬戸内4県都市の連携推進

1 事業の趣旨

瀬戸内4県の県都である岡山市、広島市、高松市及び松山市が「瀬戸内」というブランドイメージで一体的につながり、互いの長所をいかして相乗効果を発揮することにより、瀬戸内地域の活性化を図ります。

2 事業内容

岡山市、広島市、高松市及び松山市が連携して観光振興を中心に取り組むとともに、連携した取組について協議する場として、4市の市長による「瀬戸内4県都市長会議」を開催します。

- 開催日程 平成30年秋頃
- 開催場所 広島市

共同事業としては、近年、観光客数が増加傾向にある香港を対象とした招請ツアー一等を4市連携して実施します。

3 事業費

(1)歳出額	2,165 千円
(2)財源内訳	
・一般財源	2,165 千円
(前年度当初予算額)	2,100 千円)
(今年度当初要求額)	2,165 千円)

担当課名	政策局政策企画課
担当者名	大都市・広域行政担当課長 安東 功夫
電 話	内線 3585
	直通 086-803-1043
担当課名	産業観光局観光コンベンション推進課
担当者名	課長 芳原 保
電 話	内線 4530
	直通 086-803-1332

平成30年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 市民サービス拠点の整備

拡充

1 事業の趣旨

市民サービスの拠点となる区役所等の施設について、地域のまちづくりや防災の拠点として持続的なサービスが提供できるよう、市有施設等との複合化や建替えなどにより、効率・効果的な整備を進めます。

2 事業内容

(1) 市民サービス拠点整備事業

旧耐震基準で建築された支所・地域センターの耐震診断を行います。【新規】

(2) 中区役所整備事業

中区役所旧庁舎を含めた外構を平面駐車場として整備します。

(3) 福田地域センター整備事業

福田地域センター旧庁舎を解体撤去し、駐車場として整備します。

3 事業費

(1) 歳出額 115,500 千円

(2) 財源内訳

・国庫支出金 6,465 千円

・地方債 71,000 千円

・一般財源 38,035 千円

(前年度当初予算額 249,771 千円)

(今年度当初要求額 130,399 千円)

担当課名	市民生活局区政推進課
担当者名	課長 石井 敏郎
電 話	内線 3750
	直通 086-803-1033